

ベトナム国

競争法施行、競争政策実施キャパシティ強化プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成22年2月
(2010年)

独立行政法人 国際協力機構
公共政策部

公共
JR
10-013

ベトナム国

競争法施行、競争政策実施キャパシティ強化プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成22年2月
(2010年)

独立行政法人 国際協力機構
公共政策部

序 文

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、ベトナム国より技術協力の要請を受け、「競争法施行、競争政策実施キャパシティ強化プロジェクト」を、平成 20 年 9 月から約 2 年間の計画で実施してきました。平成 22 年 6 月のプロジェクト期限の終了を前に、プロジェクト活動の進捗状況と実績を整理・確認すると共に、プロジェクトについて評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から評価することを目的として、平成 22 年 1 月 24 日から 1 月 29 日まで、JICA 公共政策部財政・金融課課長 阿部裕之を総括とする調査団による終了時評価調査を行いました。本報告書は、同調査結果を取りまとめたものです。

本調査ではベトナム競争管理庁との協議を通じてプロジェクトの評価を行い、その結果を双方で確認すると共に、ベトナム側から要望があったプロジェクト期間の延長について協議を行いました。これら内容は議事録（M/M）としてまとめられ、署名・交換されました。今後は日本側においてプロジェクト期間延長の可否について、検討が進められる予定です。

本報告書が、今後のベトナムの競争法分野のさらなる発展を進める上での指針となると共に、類似分野での技術協力プロジェクトの案件形成・実施にあたっての参考として活用されれば幸いです。

最後に、本調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成 22 年 2 月
独立行政法人国際協力機構
公共政策部長 中川 寛章

地 図



出典 : <http://www.lib.utexas.edu> (Map: US CIA)

目 次

序文

地図

目次

終了時評価調査結果要約表

第1章 評価調査の概要

1. 調査団派遣の経緯1
2. 調査の目的.....1
3. 調査日程1
4. 調査団構成.....1
5. 調査結果概要（団長所感）2

第2章 評価の方法

1. 評価設問と必要なデータ・評価指標5
2. データ収集方法10
3. データ分析方法11
4. 評価調査の制約・限界、など.....11

第3章 プロジェクトの実績

1. 協力内容と実績の概略12
2. プロジェクトによる実績・成果13

第4章 評価結果

1. 項目別評価.....22
2. 効果発現に貢献した要因25
3. 問題点及び問題を惹起した要因25
4. 結論26

第5章 提言と教訓

1. 提言27
2. 教訓27
3. フォローアップ状況28

別添資料

- A. 実績グリッド31
- B. 評価グリッド35
- C. 質問票（VCA 回答）38
- D. 署名済ミニッツ49

E. Decision About Setting up and promulgating the working regulation of Working Groups with Japanese Specialist (ワーキング・グループ設置に関する VCA の決定、英訳)	69
F. 収集資料リスト	73

終了時評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：ベトナム	案件名：競争法施行、競争政策実施キャパシティ強化プロジェクト
分野：経済法制度	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：公共政策部財政・金融課	協力金額（評価時点）：47,785 千円
協力期間	(M/M): 2008/9~2010/6
	(延長等): 検討中
	先方関係機関：Vietnam Competition Authority (VCA) 日本側協力機関：公正取引委員会 他の関連協力機関：---
1-1 協力の背景と概要	
(1)協力の背景	
<p>ベトナム政府は 1986 年のドイモイ政策開始以降、市場経済化への移行を進めており、さまざまな開放政策の一環として市場経済化に対応してきた。この市場経済化の流れを受けて、以前は国営企業の寡占状況にあった電気、通信、運輸といった公共サービスや、セメント、精糖、鉱業、金融、石油といった基幹産業に対しても、国営企業改革が行われている。2001 年から 2005 年にかけて 3,590 社の国営企業が構造改革の対象となり、そのうち 2,347 社が株式会社化された。また 2006 年には 420 社が株式会社化されるなど、民営化が進められている。一方、名目 GDP に占める国営部門の構成比は 40%程度と、未だ大きなシェアを占めている。さらに民営化を推進するためには、経済基盤の整備としての関連法整備が重要となっている。</p> <p>また、ベトナム政府により市場開放、外資導入策が積極的に進められてきた結果、対ベトナム直接投資も拡大してきている。アジア通貨危機の影響を受け、ベトナムへの投資は 1999 年に 1996 年の 4 分の 1 以下になったが、その後、投資促進策を実施したことにより徐々に回復し、2006 年には 102 億ドルと過去最高額を記録した。日本の対ベトナム投資も 2004 年ごろから増え始め、2000 年に 26 件であった直接投資件数が 2005 年には 100 件を超え、2007 年には 154 件となった。加えて、2007 年 1 月 11 日にベトナムは第 150 番目の WTO の正式加盟国となった。これによりさらなる市場開放が進むと期待されている。</p> <p>こうした中、ベトナム政府は、経済開放政策の一環として市場経済化に対応すべく法制度の整備を進めてきた。具体的には、民法をはじめ、商法、知的財産法、投資法、企業法などであり、相次いで関連法の改正・施行を行ってきた。その中で経済の健全な成長、民間活力の促進、企業と国民の繁栄を目指す上で重要な法制度として、競争法が 2004 年に制定され、2005 年 7 月 1 日に施行された。しかし、競争法の法整備は進められたものの、執行面で十分な経験がないことから多くの課題を抱えている。人材と活動予算の不足、法執行のノウハウや法解釈のあり方、また国民（消費者）、企業、他関係省庁の競争政策に対する理解不足などが課題として挙げられる。2005 年-2006 年に実施された JICA 開発調査「競争法施行に係るキャパシティ・ビルディング計画支援調査」においても、法執行上の留意すべき重要なポイントとして、審査官の育成、人材育成プログラム計画の策定・実施など、執行体制の整備、人材育成に向けた取り組みの必要性や、関係省庁・機関との情報共有化推進による理解度の向上のための活動の必要性が指摘された。</p>	

(2)協力の概要

「ベトナム競争法施行・競争政策実施キャパシティ強化プロジェクト」（以下、本プロジェクト）は、競争法の執行機関である VCA の審査機能を向上させるとともに、政府関係機関、企業、消費者、アカデミック層に対し競争法に関する知識を啓蒙・普及させることにより、VCA が競争法・競争政策を効果的に施行・実施できる体制を整えることを目的とするものである。なお、プロジェクト開始当時、ベトナムにおける競争法と同政策実施は始まったばかりであり、VCA（当時は VCAD : Vietnam Competition Administration Department）における執行体制の確立もこれからというところであった。一方、本プロジェクトに対する VCA の期待は極めて高く、多様な活動内容が盛り込まれた。こうした当初の事情から、プロジェクト協力期間はまず 1 年 9 ヶ月間に設定され、VCA の執行体制の確立やプロジェクト活動の進捗状況によっては、協力期間の延長もあり得ることを念頭に、プロジェクトは開始された。

1-2 協力内容

- (1) 上位目標：ベトナム国内の市場において公正・公平な競争が促進される。
- (2) プロジェクト目標：VCA が競争法施行・競争政策を効果的に実施できる体制が整う。
- (3) 成果：
 - 1) VCA の審査機能が向上する。
 - 2) 政府内、企業、消費者、アカデミック層に対し、競争法に関する知識が啓蒙・普及される。

(4) 活動

- 1-1.審査活動の現状分析を行い、問題点を特定する。
- 1-2.助言を得た審査活動を通じて、審査能力の向上を図る。
- 1-3.必要なガイドライン、審査官のためのマニュアル等を作成する。
- 1-4.市場確定の手法に係る技術の向上を図る。
- 1-5.ターゲット市場における競争上の問題点を把握するための市場調査を実施する。
- 1-6.1-1～1-5 の活動に基づき、審査官研修センターにおける研修プログラムを策定し、実施する。
- 1-7.組織された作業グループにおいて審査の観点から情報センター（CCID）の機能を構築し、必要および実現可能な範囲で活動を実施する。
- 1-8.研修センターの設立のためのコンセプト案を策定する。
- 2-1. アドボカシーを担当する作業グループを組織する。
- 2-2. 効果的なアドボカシーの方法について検討する。
- 2-3. 2-2 に基づきアドボカシー活動を実施する（セミナー、ワークショップ、リーフレット等）

(5) 投入（評価時点） 総額：47,785 千円

日本側： 41,259 千円

相手国側： 6,526 千円

2. 評価調査団の概要

調査者	(担当分野：氏名 職位)
	総括： 阿部裕之 JICA 公共政策部 財政・金融課課長

	協力企画： 馬杉学治 JICA 公共政策部 財政・金融課調査役 競争法・競争政策：五十嵐俊之 公正取引委員会事務総局 官房国際課 国際経済調査課長 評価分析： 田中秀和 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 国際研究部 主席研究員 協力調整： 室岡直道 JICA ベトナム事務所員	
調査期間	評価分析： 2010/1/25-1/29 官団員： 2010/1/27-1/29	評価種類：終了時評価
3.評価結果の概要		
3-1 実績の確認		
(1) 上位目標：ベトナム国内の市場において公正・公平な競争が促進される。		
1)競争法違反ケースの調査・摘発	処分に至った事案数(2008)： <u>13件</u> (全て不公正取引案件). 処分に至った事案数(2009)： <u>13件</u> (12件が不公正取引、1件は競争制限行為(初めての摘発))	
2)社会の認識	最近の事例として、2009年4月のVCC ¹ (VCAが審査を実施し、VCCが処分を決定)による航空燃料販売における独占的地位の濫用のケースの摘発により、社会の認識は高まった。これは競争制限的行為が適用された初事案。	
(2) プロジェクト目標：VCAが競争法施行・競争政策を効果的に実施できる体制が整う。		
1)競争法違反ケースの摘発	処分に至った事案数(2008)： <u>13件</u> (全て不公正取引案件). 処分に至った事案数(2009)： <u>13件</u> (12件が不公正取引、1件は競争制限行為(初めての摘発))	
2)競争政策の提言	8つの産業セクターについての提言：鉄鋼業、銀行、通信、薬品、海運、電力、航空および石炭。	
3)VCAの組織、スタッフ、予算のトレンド	<ul style="list-style-type: none"> ・2009年7月：VCAD(Department)から法執行力を持つ<u>VCA(Authority)</u>へ名称変更。 ・VCAの職員数：60名(2008)から<u>85名(2009)</u>へ増員。 ・VCAの予算：VND 9 billion(2008)から<u>VND 16.5 billion(2009)</u>へ増額 ・2009年11月：ダナン事務所の開設 	

¹ Vietnam Competition Commission、現行制度では不公正競争行為はVCAが処分を決定する権限を有しているが、競争制限行為に関しては、VCAが審査を行い、処分決定はVCCが下す権限を有している。

(3) 成果

1) VCA の審査機能が向上する：ほぼ達成²

基本的に協力活動はタイムスケジュールに沿って的確に実施された。また、これらの活動は受益者（主として VCA スタッフ）と長期専門家との間の緊密な協力によって進められた。2009 年から毎月第二金曜日に開催されている月例ケース・スタディ、審査官向けのワークショップ、本邦研修などを通じて VCA スタッフ（とりわけ審査官）は日本における競争法事案の審査手法を学ぶことが出来、実務に適用している。また、VCA 職員用の内部資料として審査マニュアル「反競争事案審査の手続き」（ベトナム語）を作成したほか、市場調査としては「粉ミルク」の市場調査を実施した。

これらの審査機能向上のための協力の結果、2006 年に 6 件であった審査件数は 2008 年および 2009 年には 17 件に増大し、2009 年 4 月には「競争制限行為」に対する違反として始めての処分を VCC が決定するための審査を実施した。

2) 政府内、企業、消費者、アカデミック層に対し、競争法に関する知識が啓蒙・普及される：ほぼ達成

関連活動は円滑に実施された。アドボカシーを目的としたセミナーへの協力は合計 10 回開催あるいは開催予定であり、主な開催済みのセミナーとしては、M&A に関するセミナー（2008/10、ハノイ・HCMC（VCA-FIA³主催）、審査手続きに関するセミナー（2008/11、ハノイ・HCMC）、2)事業者団体に関するセミナー（2009/3、ハノイ（JICA 主催）、3)CCID⁴主催の月例フォーラム（2009/3 ハノイ、2009/11 ダナン）、M&A に関する国際セミナー（2009/7、JFTC 浜田委員参加（VCA-FIA 主催））などが開催され、経済界、法律事務所、メディアなどに対するアドボカシー活動がなされた。

また印刷配布物としては、VCA の業務紹介（VCA Brochure）及び競争法に関する概要説明（Overview of Competition Law）パンフレットは専門家のアドバイスによって作成・印刷され、政府関係機関、経済界、法律関係者、マスコミ等に配布され VCA のイメージを高める一助となった。さらに、VCA 内部資料として作成した審査マニュアルも裁判所など審査業務関係者には配布された。

これらのアドボカシー活動の結果、社会の競争法に関する認識は高まり、企業等から VCA に対して持ち込まれる相談件数（端緒処理対象事案）は 2007 年の 17 件から 2008 年には 20 件、2009 年には 26 件に達した。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性

ベトナムにおける市場経済の促進と規制緩和が進められる中、ベトナム政府は競争政策を重点施策の一つとして引き続き推進しており、今後ますます競争法執行の観点から審査すべき事案が増えることが予想される。VCA はその執行体制整備のため、多くの新規職員

² [達成]、[ほぼ達成]、「未達成」の 3 段階による評価

³ Foreign Investment Agency

⁴ Center for Competition and Information Data, VCA の広報・情報収集センター

⁵ [開発課題への日本側の対応方針]のうち(a)経済制度整備・運用に競争政策が記述されている。

⁶ Ministry of Industry and Trade VCAD No. 96/QD-QLCT Decision about: Setting up and promulgating the working regulation of Working Groups with Japanese Specialist (2008/11/25)

を採用するなど、その能力強化ニーズは引き続き高い。

また、日本側の援助方針（対ベトナム援助展開計画 2009）に示される方針⁵として示されている、ベトナムが国際競争環境下で経済成長を続けるため、民間セクターの開発とビジネス環境の整備の推進のする方向性とも引き続き合致している。

（2）有効性

以下の活動により、VCA の執行体制の整備が図られた。

- ・長期専門家による日々のアドバイスにより審査能力の向上が図られた。具体的には専門家のイニシアティブにより 2009 年 4 月より月例（毎月第二金曜日）のプレゼンテーションを開催し、日本の事例を中心に紹介し、毎回 10 名程度の VCA スタッフの参加があった他、審査手法に関して個別の相談にも答えた。
- ・公正取引委員会からの短期専門家派遣（市場調査、カルテル、事業者団体、不公正取引（虚偽表示）など）や国別研修実施により、市場調査やカルテルといった特定分野や日本の競争政策など日本の知見を共有できた。これらの分野はベトナムの市場環境においては、まだ社会の認識が十分でなく、例えば事業者団体がカルテルの話し合いを持つことが行なわれ、それが競争法違反という認識がなかった、というケースがあった。また、日本での独占禁止法施行の取組の紹介は VCA が取り組むべき端緒処理および審査への実務的な取組への参考となった。
- ・各種啓蒙普及活動によりベトナム国内における競争法・競争政策の認識が高まりつつある。

（3）効率性

以下の取り組みにより、プロジェクトは効率的に実施された。

- ・2009 年 7 月に PDM を見直し、また日本側・ベトナム側の費用負担区分を明確にしたミニッツに合意した。同ミニッツでは日本側の投入コストは約 44 万ドル（長短期専門家、本邦研修、出版物作成、セミナー開催等）、ベトナム側が約 7 万ドル（VCA スタッフの旅費等）としており、コスト分担を明示したため、事業の実施に対する責任分担がより明確となり、結果として効率的な運用が可能となった。
- ・長期専門家の執務室が主要なカウンターパート職員の近くに配置され、日々のコミュニケーションが円滑に図られた。
- ・「審査」、「人材育成」、「アドボカシー」の活動について、それぞれワーキング・グループが内部規定により発足し、カウンターパートが正式に任命された。
- ・上記の費用負担の明確化、専門家の執務環境、ワーキング・グループの設置の結果、セミナー、ワークショップの運営および派遣された長期・短期専門家の活用が効率的に行なわれた。

（4）インパクト

プロジェクト協力期間が短いため、長期的な観点からのインパクト発現にはまだ時間が掛かるものの、次の事象が確認された。

- ・産業界や学識者などから、競争法・競争政策に関する相談や照会件数が増えてきたこと
- ・実際の審査案件を対外的に公表することにより産業界等に競争法・競争政策の重要性を気付かせることの重要性に、VCA 自らが気付き始めたこと
- ・審査案件を試行錯誤により多数取り扱うことにより、自らの執行体制や競争法の不備につ

いて認識し、それを改善していこうという意識が醸成されてきたこと

- ・大都市だけでなく、地方都市でもワークショップ等を開催し、全国的な競争法・競争政策の認知度向上を目指していること

(5) 自立発展性

市場調査や職員研修モジュールの作成など、プロジェクト協力期限までにこれから取り組む活動がいくつかあるが、VCA の能力強化の取り組みはまだ始まったばかりである。これまでの成果を根付かせ、活用し、より長期的な観点から適切且つ持続的な人材育成のための体制整備に取り組む必要があり、これには VCA による更なる努力と日本による支援が必要とされる。

3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

- ・公正取引委員会から長期・短期専門家の派遣、国別研修の受け入れなど、全面的なサポートが得られた。
- ・ベトナム側の政策に一貫性があり、VCA の権限が高められ、組織が拡大した。組織の拡大により経験の浅い VCA スタッフへの能力強化のニーズが高まっているが、将来的には組織拡大による協力効果の発現が期待される。
- ・ベトナムの市場経済の発展とともに競争法に関連した相談件数や審査対象案件が増大し、2009 年には「競争制限的行為」に関する初めての事案で処分決定がなされた。

(2) 実施プロセスに関すること

- ・専門家の赴任から 10 ヶ月経過した時点（2009 年 7 月）で PDM の見直しが行なわれ、また日本側・ベトナム側の費用負担区分が明確化された。同 PDM 見直しの背景には、協力の実施経験をベースに指標をより明確にするとともに、個別活動計画をログフレームに整理し、担当者を明確にする必要性があった。この見直しにより、費用負担を含む業務の実施への責任が明確になった。
- ・VCA 側が 3 つのワーキング・グループ（審査、人材育成、アドボカシー）を設置し、カウンターパート機能を強化した。これらワーキング・グループは VCA の組織決定（General Director の Decision⁶）によって設置されたもので、各グループのタスク、グループ・リーダーの責任、グループ・メンバーの責任などが記載され、3 名のリーダーと 13 名のメンバーが指名されている。これによって、プロジェクトの実施前にはなかった JICA の支援における実施体制が整った。
- ・専門家のイニシアティブにより月例プレゼンテーションが開催され、コミュニケーションの活発化が図られた。

3-4 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

- ・VCA の組織拡大に伴い多くの新規採用が行なわれたため、業務経験の浅いスタッフが増大したため、技術移転を実施するための基礎知識の不足により、新規採用スタッフに対しては効果的な技術移転には限界があった。
- ・競争法違反案件数が少ないため、実際の事案に基づいて長期専門家がアドバイスを提供

する機会が限定的にならざるを得なかった。

(2) 実施プロセスに関すること

VCAにより設置されたワーキング・グループの活動はPDMに沿って各担当分野（審査、人材育成、アドボカシー）をカバーすることとなっていたが、夫々の活動の実行段階になると活動の具体化が進まない場面があった。これはグループによって対象とする活動内容が異なり、例えば、グループ1（審査）の活動は最も困難なものであり、グループ3（アドボカシー）はセミナー、出版物など個別の活動が具体的であったということもあり、ワーキング・グループの機能は均一でなかった。この点から、ワーキング・グループの設置は実施体制の整備は評価されるものの、その活動に関しては期待されたほどで無かった面も否めない。

3-5 結論

VCAのオーナーシップの醸成および長期専門家と公正取引委員会による惜しみない協力により、予定していたプロジェクト活動の多くが実施され、プロジェクト目標も大部分において達成したものと判断できる。しかし、ベトナム政府が競争政策を重点施策に位置付けていることに鑑み、この取り組みはまだ緒に付いたばかりであり、競争当局であるVCAの審査機能をはじめとする競争政策施行の実務能力の向上は引き続き図っていかねばならず、VCAはまだまだ多大な努力が必要である。最も大事な点は、VCAが単に審査能力の向上に取り組んだり、啓蒙普及活動を拡大したりしてきたことではなく、VCAが実際の事案を公表することで人々に競争法・競争政策の重要性を気付かせ、またそれを顧みることによりVCA自身が法執行体制や競争法における具体的な不備を認識し、改善策を考える力が養われつつあることである。

3-6 提言（当該プロジェクトに関する具体的な措置、提案、助言）

- (1) VCAにおける競争法執行体制の確立が進展しており、また基本的な業務推進が図られつつある。こうしたこれまでの成果を根付かせるため、またVCAの長官からなされた要請も考慮し、プロジェクト開始当初に想定していた協力期間の延長はやはり必要と判断される。その際には、2012年に改定予定の競争法に対するアドバイスが求められていること、専門家の十分な活動期間を確保することが効果的且つ適確な技術移転につながることにいったことを考慮し、プロジェクト協力期間を現行の協力期限（2010年6月末）から更に2年間延長することを提言する。
- (2) 延長期間中においては現行の活動と投入を継続することが適切である。自立発展性確保のため、特に人材育成のメカニズム構築に取り組むべきである。また、VCAに対し日常的にアドバイスを提供するほか、審査能力の向上および見直しが予定されている競争法に関するアドバイスを行うため、長期専門家の配置が望ましい。
- (3) VCAは経済分析の短期専門家派遣を希望しているが、日本側による具体的な対応については、延長期間中に検討する。

3-7 教訓（当該プロジェクトから導き出された他の類似プロジェクトの発掘・形成、実施、運営管理に参考となる事柄）

- (1) VCA は組織強化の途上にある組織であり、新たなスタッフの増員を図っているため、その能力強化のニーズは常に拡大している。また、現職の VCA スタッフについてもまだ経験は浅く、更なる能力強化の必要性もある。これら二つのグループの能力強化ニーズの内容は異なっており、PDM に示されたキャパシティ強化を本プロジェクト期間内に達成することは困難であった。今後は VCA がより持続可能性のある職員研修プログラムを設置される予定の審査員研修センター (Training Center for Investigators) によって長期的な人材育成制度を築く必要がある。
- (2) 本プロジェクト期間中の競争制限的行為に関する事案数が限られていたために、実際のケースに関するアドバイスを提供する機会は少なかった。(実際のケースをベースとするのが最も効果的な技術移転である) しかし、違反事案はベトナム社会における VCA の認知や VCA の役割に影響されるものである。よって、現状においては、VCA は選択的に適切な事案への取組を行なうこととなり、専門家の審査に関するアドバイスも限定的な事案数のなかで対応せざるを得なかった。
- (3) 市場調査に関しては、VCA が想定したよりも多くの時間が一つのセクターの市場調査を実施するのにかかった。しかし、VCA が将来的な能力強化を目指ためには、現時点では時間がかかっても調査の質を優先した取り組みを行うことが望ましい。
- (4) 現行の競争法には施行段階で障害となりうる内容が含まれており、この点は本プロジェクトの協力によって VCA でも認識されるに至ったことであるが、同時に本プロジェクト目標のひとつ (関連市場の特定に関する調査) が達成できなかった要因でもあった。この問題に関して VCA は引き続き支援を必要としている。

3-8 フォローアップ状況

現行協力期間が終了する 2010 年 6 月以降の協力の延長について、VCA 側の要請を受け、日本側で検討を進める。

以上

第1章 評価調査の概要

1. 調査団派遣の経緯

プロジェクトの協力期限を2010年6月に迎えるにあたり、終了時評価調査を実施した。

2. 調査の目的

プロジェクト活動の進捗状況と実績を整理・確認すると共に、プロジェクトについて評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から評価する。

また、ベトナム側から要望があったプロジェクト期間の延長について協議を行う。

3. 調査日程

月	日	内容
1月	24日（日）	ハノイ着（田中）
	25日（月）	VCA 及びプロジェクト専門家への聞き取り、データ収集
	26日（火）	VCA 及びプロジェクト専門家への聞き取り、データ収集 午後：ハノイ着（阿部、馬杉、五十嵐）、団内打ち合わせ
	27日（水）	午前：VCA 協議 午後：団内打ち合わせ、資料作成
	28日（木）	午前：VCA 協議 午後：団内打ち合わせ、資料作成
	29日（金）	午前：ミニッツ署名 午後：ハノイ発（五十嵐、田中）

4. 調査団構成

氏名	担当分野	所属	調査期間
阿部 裕之	総括	公共政策部 財政・金融課 課長	1/27-1/29
馬杉 学治	協力企画	公共政策部 財政・金融課 調査役	1/27-1/29
五十嵐 俊之	競争法・競争政策	公正取引委員会事務総局 官房国際課 国際経済調査係長	1/27-1/29
田中 秀和	評価分析	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 株式会社 国際研究部 主席研究員	1/25-1/29
室岡 直道	協力調整	ベトナム事務所員	1/25-1/29

5. 調査結果概要（団長所感）

ベトナム政府は、競争法を2004年に制定、2005年7月1日に施行し、経済の健全な成長、民間活力の促進といった市場の育成に努力しており、「競争法施行、競争政策実施キャパシティ強化プロジェクト」については、こうしたベトナム側の努力を支援するものとして2008年9月から2010年6月までの予定で実施されてきたものである。

本プロジェクトは、2005年-2006年に実施されたJICA開発調査「競争法施行に係るキャパシティビルディング計画支援調査」において指摘された、審査官の育成、人材育成プログラム計画の策定・実施など競争法の執行体制の整備及び人材育成、外部への理解度の向上のための活動の必要性に基づき実施されたものであり、今回の終了時評価の結果、2年未満のプロジェクト期間という状況の中で一定程度の成果が達成、あるいは達成されつつあるということが確認できた。

一方、ベトナム経済の急速な進展に伴って競争法執行に係る環境が変化してきているという状況の中で、2004年に設立したVCAD (Vietnam Competition Administration Department) (現、VCA (Vietnam Competition Authority)) という若い組織に協力の成果を根付かせるためには日本からの継続した支援が必要であるというベトナム側の要請(2009年12月にVCA長官が国別研修で来日した際、延長要請を日本側に伝達)に基づいて評価結果を俯瞰するに、本プロジェクトの延長が妥当であり、時宜を得たものであるという判断に到った。

これまでの進捗状況や活動の評価等については他に譲るとして、ここでは本件プロジェクトを延長するにあたって留意すべき点に触れ、今後の検討材料としたい。

(1) 残された課題

評価の詳細は他に譲るが、計画された活動は順調に実施され、一部に未実施の活動(市場調査の実施)は見受けられるものの、プロジェクト終了までに目標は概ね達成できるだろうという感触を得た。一方、現時点においてプロジェクトの成果を定着させるためには以下の点が懸念材料として残る。

- ・ 市場経済の進展が期待されるベトナムでは、競争政策に関する事案審査等が今後劇的に増えることが予想されることからVCAの人材育成が待ったなしの状況になっている。しかしVCAは比較的新しい組織であり、ベトナム政府の競争政策の執行強化という政策ニーズに沿って組織強化が図られているものの、構成する人員が若く(平均年齢29歳)、執行体制に不安が残る。また、これまで技術移転を受けた職員は順調に育ってきてはいるものの、新規、未経験の事案に独力で対処するほどの能力までには至っていないと思われる。
- ・ 審査官育成のための研修センターが2010年より稼動する予定ではあるが、センター運営や講師人材のリクルートや研修モジュールの作成もこれからという状況である(VCAによれば、本プロジェクト終了までに実施するとの由)。また、これまで技術移転を受けた職員がすぐにでも新規入局者に対する講師に成り得るほどの高いレベルまでには到達していない。右状況を踏まえ、適切かつ持続的な人材育成システムを構築するための検討が必要であり、そのための専門家の知見活用が望まれる。
- ・ 競争政策当事者の能力向上を図るには実際に事案を扱いつつ学ばせることが効果的であるものの、残念ながらベトナムにはそれほど多くのケースが蓄積されていない。その一

因としては民間企業や消費者の間に競争政策（及び VCA の存在）がそれほど認知されていないことが挙げられる。競争政策を市場に根付かせるためには、少ない事案という与えられた状況の中で VCA が適切な審査を行い、その結果を公表することで市場の信頼を勝ち取ることが必要であるが、先に述べたような執行体制では十分になし得ない。また、アドボカシー活動は競争政策の重要性を市場に理解してもらうためのひとつの方策であり、本プロジェクトでも活動の重要な柱の一つとして対応し、広報資料の作成やシンポジウムの開催等を行ってきたが、相談件数が劇的に増えるまでには結びついてはいない。企業や消費者に対する VCA の事業役割の周知と、これらステークホルダーからの継続的な信頼の獲得が引き続き課題となっている。

- ・ 2005 年に施行された競争法の改訂が 2012 年に予定されており、右に関する専門家の知見活用が望まれている。競争法を改訂することによって十分な執行体制や制度を構築しなければ上位目標の達成といった更なる進展が望めないという危機感を VCA が抱き始めたことは本プロジェクトの成果の定着という意味からも重要なことであり、こうしたモメンタムを継続して支援する必要性は高い。

以上の状況に鑑み、これまで達成してきた成果を根付かせるとともに、新たな要因に対処・調整していくことが妥当であるとの判断に到った。

（2）実施体制

基本的にはこれまで実施してきた活動を継続して行う必要があることから、実施体制上の変更はないと見て良い。一方でこれまで以上にベトナム側の主体的な活動が望まれることから、例えば人材育成の分野で日本側専門家が表立って活動するのではなく、ベトナム側の講師が今まで蓄積した知見を積極的に関係者に技術移転し、日本側専門家はアドバイザーに徹するといった工夫が必要となろう。また、専門家がアドバイスを行う相手としてのコア人材を特定して日本からの技術移転を行うといったこともプロジェクトの効率的な運営のためには検討が必要であろう。

（3）延長の際の日本側体制

プロジェクトの延長に関し、ベトナム側からは、①2 年間、②2 名の長期専門家（法律分野、経済分野）、③組織体制強化及び人材育成に加えて 2012 年に改訂予定の競争法に対するアドバイス、といったことが求められている。

上記①を先方が要望する背景としては、長期専門家は着任後にすぐ活動できるわけではなく、日越双方の法制度や執行体制の違いに熟知した上での適確なアドバイスが求められることから、プロジェクトの本格的な稼動に時間を要するために一定期間を確保する必要があることを挙げていた。右については一定の理解を示すことができるものであるが、リソースの問題とも関係することであり、本邦関連機関（公正取引委員会）との調整を行っていきたい。

上記②を先方が希望する背景としては、これまでどおり競争政策に係る法律分野の技術移転に加え、例えば M&A や市場支配的地位の濫用によって市場がどのように歪められるかという点を経済的に分析し、そのためのデータ取得方法や分析手法を Decree に書き込む必要があることから、そうしたスキルを指導してくれる経済分野の専門家による指導が必要とのことであった。本件については本邦関係機関と調整した上で、リソースの観点から 2 名の長期

専門家派遣は難しいこと、人材の豊富な分野ではないものの先方要望については短期専門家ベースで検討することで合意を得たところ、延長時の活動を検討するにあたって留意が必要である。

上記③に関しては、アドバイスのタイミングが効果を上げる上での重要な鍵となることから可及的速やかなる延長決定及び人選が必要になってくると思料する。

延長決定後、プロジェクト延長期間に係る具体的な投入方法については2010年7月以降に長期専門家と先方との間で詰めていくことになると思われるが、現行プロジェクトの活動を継続支援するうえで、日常的な長期専門家による支援の他に、本邦研修及び短期専門家についても引き続き実施していくことになると思われる。

なお、要すれば調整員の派遣も検討したいが、JICAの技術協力予算の中で考えていくことになるろう。

(4) 延長手続き

今回の評価結果報告を受けて、日本側で延長が決定されれば速やかにベトナム側にその旨伝える必要がある。ベトナム側でプロジェクトの延長を決定するためには、計画投資省(MPI)の承認、関係機関への意見聴取、産業省(MOIT)の承認等に1ヶ月は要するとのことである。また、承認申請の際にはある程度の計画策定及び経費概算が必要であるとのことであり(もってVCA側のプロジェクト活動予算負担を確保する)、これらの作業に要する時間も勘案する必要がある。

第2章 評価の方法

1. 評価設問と必要なデータ・評価指標

終了時評価とは、プロジェクトが目指していた目標が達成されたかを総合的に検証するものであり、評価項目のうち妥当性、効率性、有効性を現状と実績に基づいて検証し、インパクト、自立発展性については、これまでの実績、活動状況に基づいて今後の実現可能性について、その「見込み」を検証するものである⁷。従って、これまでの実績を把握するために実績についての確認を行い、次いで評価5項目に沿って評価設問の設定を行った。具体的には実績の確認のための「実績確認表」(実績グリッド) および評価5項目に沿った「評価グリッド」を作成した。評価指標は「JICA 評価ガイドライン (改訂版)」に沿って設定した。下記に評価設問(大項目、小項目)を示す。

1) 実績確認表 (実績グリッド)

1-1) 実績の検証

● 上位目標

評価設問 (大項目)	評価設問 (小項目)
ベトナムの市場において公正な競争が推進される。	1.競争法違反ケースの調査・摘発
	2.社会の認識

● プロジェクト目標

評価設問 (大項目)	評価設問 (小項目)
VCA における競争政策と競争法の実施のための運用フレームワークが確立される。	1.競争法違反ケースの摘発
	2.競争政策の提言
	3.VCA の組織、スタッフ、予算のトレンド

● 成果の達成度

評価設問 (大項目)	評価設問 (小項目)
成果 1. VCA の審査機能の向上。	1-1.VCA の審査活動の分析と提言
	1-2.競争法違反事案 10 件以上の調査と分析
	1-3.実際のケースを扱った職員の数
	1-4.研修事業の実施：10 コース以上 (日本およびベトナムにおいて)
	1-5.審査のためのガイドライン、マニュアル等参考資料
	1-6.実際の審査活動の分野の数
	1-7.市場調査：2 件以上の実施
	1-8.研修センターにおける研修カリキュラム・モジュールの作成・準備

⁷ プロジェクト評価の手引き (改訂版 JICA 事業評価ガイドライン)

	1-9.アンケート調査の結果
成果 2. 競争政策および競争法に関する知識が政府、企業、消費者および学会に広がる。	2-1.アドボカシー活動：10 回以上の開催
	2-2.アドボカシーのためのパンフレット：3 種類以上
	2-3.苦情受付および端緒の確認
	2-4.企業からの相談件数

● 投入の実績

評価設問（大項目）	評価設問（小項目）
日本側の投入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期専門家：1 名 ・ 短期専門家：必要に応じて派遣 ・ 供与機材：必要な資機材の提供 ・ 本邦研修：2 回（改訂後 PDM による） ・ プロジェクト経費：実施に必要な費用 	投入量、投入の質及び時期は計画通りか。
ベトナム側の投入 <ul style="list-style-type: none"> ・ カウンターパート -Project Director -Project Manager -Technical Counterpart ・ 日本人専門家の執務スペース ・ VCA スタッフの旅費等必要経費 	投入量、投入の質及び時期は計画通りか。

● 外部条件

評価設問
競争政策の方向性に変更がない。
プロジェクトの実施に影響を及ぼす VCA の組織変更がない。

1-2) 実施プロセスの検証

● 計画の進捗状況

評価設問
1-1 審査活動の現状を分析し課題を抽出する。
1-2 アドバイスの提供により審査スキルの向上を図る
1-3 必要なガイドライン、マニュアルの整備
1-4 調査対象市場の確認スキルの向上
1-5 市場調査の実施による反競争的課題の抽出
1-6 上記 1-1 から 1-5 までの活動の結果により、研修センターにおける審査技術の研修の準備と実施
1-7 審査機能強化の観点からワーキング・グループの活動を通じて CCID(Center for

Competition Information and Data)のキャパシティの強化を図る
1-8 研修センター設立のドラフトの概念の開発
2-1 アドボカシー活動展開のためのワーキング・グループの設置
2-2 効果的なアドボカシー活動のためのレビューと検討
2-3 上記 2-2 の成果によるアドボカシー活動の実施 (セミナー、ワークショップ、リーフレット等)

● 専門家とカウンターパートの関係

評価設問 (大項目)	評価設問 (小項目)
専門家とCPの関係は良好か。	相互に信頼関係が醸成されているか。
	相互の満足度は高いか。
	相互コミュニケーションは十分に行われているか。

● プロジェクトチームと他のステークホルダーとの関係

評価設問
他省庁、経済界、消費者団体、学会、他ドナーとの接点、協力、補完関係。

● 相手国実施機関のオーナーシップ

評価設問
VCAは主体的にプロジェクト活動の計画及び実施に関わっているか。
カウンターパート・スタッフはプロジェクトの活動状況を十分に把握しているか。
先方予算は計画通り確保、支出されているか。

● モニタリング・評価のプロセス

評価設問
プロジェクト活動のモニタリング・評価は効果的に実施されているか。

● 阻害要因および貢献要因

評価設問 (大項目)	評価設問 (小項目)
活動進捗、成果達成、目標達成に阻害、貢献する要因はあるか。	VCAの組織体制、スタッフの経験・能力に起因する問題点
	日本側の協力体制に起因する問題点
	その他の阻害、貢献要因はあるか。

2) 評価グリッド

2-1) 妥当性

● 必要性

評価設問 (大項目)	評価設問 (小項目)
プロジェクトの上位目標とプロジェクトの目標はベトナム政府の政策は一致していたか。	技術移転活動はベトナム政府のニーズと合致していたか。
	技術移転活動はVCAのニーズと合致していたか。

- 優先性

評価設問（大項目）	評価設問（小項目）
上位目標と本「キャパシティ強化プロジェクト」との整合性はあったか。	公正な競争への理解
	公正な競争を実現するための手段とキャパシティ強化の関連性
プロジェクトと日本の援助政策、JICA 国別事業実施計画との整合性はあったか。	日本の対ベトナム援助重点課題、JICA 国別事業実施計画

- 手段としての妥当性

評価設問（大項目）	評価設問（小項目）
プロジェクトのアプローチは適切だったか。	長期専門家派遣による技術移転活動は技術移転の手段として適切だったか。
	VCA 側の受け入れ体制は適切だったか。
	JICA および公正取引委員会の後方支援は適切だったか。
日本の協力としての優位性はあったか。	日本の独占禁止法および公正取引委員会の経験が適用可能で活かされたか。
	日本の産業および経済における経験は関連性があったか、活用可能であったか。

2-2) 有効性

- プロジェクト目標の達成予測

評価設問（大項目）	評価設問（小項目）
プロジェクト目標は適切だったか。	プロジェクト目標は達成されたか。
	プロジェクト目標指標の設定レベルは適切だったか。

- 因果関係

評価設問（大項目）	評価設問（小項目）
プロジェクトのアウトプットはプロジェクト目標達成に貢献したか。	VCA 職員は技術移転で学んだ内容を実践しているか。
プロジェクト目標達成を阻害する要因はあるか。	プロジェクト予算が適切に支出されたか。（外部条件）
	他の技術協力や他のプロジェクトの活動から干渉されなかったか。（外部条件）
	VCA 幹部および職員、カウンターパートが異動・離職しなかったか。（外部条件）
	競争政策に関する大きな政策変更があったか。（外部条件）
	その他の外部条件はあるか。

2-3) 効率性

● 成果の達成度

評価設問
成果は計画通り達成していたか。
阻害要因があるとすれば何か。

● 因果関係

評価設問（大項目）	評価設問（小項目）
成果を達成するために十分な活動であったか。	過去の技術協力活動の結果は専門家の活動計画作成に寄与したか。
	VCA のカウンターパートの活動は効率的な技術移転に寄与したか。
達成されたアウトプットから見て投入の質、量、タイミングは適切だったか。	専門家派遣人数、専門分野、派遣期間、派遣時期は適切か。
	供与機材の種類、量、設置時期は適切か。（該当する場合）
	カウンターパート本邦研修の分野、研修内容、研修期間、受入時期は適切だったか。
	日本側およびベトナム側の現地活動費は適切か。
ローカル資源を有効に活用していたか。	公正取引委員会によるバックサポート（短期専門家、本邦研修、関連資料・情報の提供、教材等）、そのたネットワークを有効に活用したか。
	ベトナム現地人材、既存施設などを有効に活用しているか。
その他効率性の貢献要因、阻害要因はあったか。	

2-4) インパクト

● 上位目標の達成見込み

評価設問（大項目）	評価設問（小項目）
投入・成果の実績、活動の状況から、上位目標の達成の可能性は高いか。上位目標とプロジェクト目標は乖離していなかったか。	
上位目標達成に必要なプロジェクト以外の要因が満たされる可能性は高かったか。	ベトナムの競争政策の施策活動は計画通り実施されているか。
	その他上位目標達成に必要な活動はあるか。
上位目標の達成を阻害する要因はあったか。	

● 波及効果

評価設問
上位目標以外の正負の効果・影響があったか。

2-5) 自立発展性

● 政策・制度面

評価設問（大項目）	評価設問（小項目）
政策支援は協力終了後も継続される可能性は高かったか。	「競争法施策」は引き続き国（商務省）の優先課題として位置づけられ続けるか。
	VCA はプロジェクト終了後の職員能力強化の継続に係る戦略を持っているか。

● 組織・財政面

評価設問（大項目）	評価設問（小項目）
VCAD の人材育成・組織強化の施策に自立発展性があったか。	商務省および VCA のオーナーシップおよびコミットメントがあるか。
	産業界の競争法に対する理解と関心は高いか。

● 社会・文化・環境面

評価設問（大項目）	評価設問（小項目）
人材育成がその機能を維持し続ける可能性は高いか。	設備、機材は適切に維持管理されているか。維持管理の為に予算処置はされているか。

2-6) その他

● 今後の展開の方向性

評価設問（大項目）	評価設問（小項目）
今後の展開に向けて、留意していかなければならないことは何か。	継続的な技術移転に当たり組織・財政・技術面での自立発展性はあるか。

2. データ収集方法

評価作業に必要な情報・データは、主として質問票、現地調査インタビューおよび現地調査時に入手した資料から収集した。

● 質問票による情報収集

上記の実績グリッドおよび評価グリッドの評価設問項目に沿って、カウンターパートである VCA に対する質問票を作成し、現地調査時に事前に送付して現地で回収した。質問票に対しては、VCA のカウンターパートより関係部署からの情報を集約した形で回答が埋められ、現地調査面談時に内容の確認等を行った。

● 現地調査時のインタビュー

現地調査実施時（2010年1月25日および26日）に、カウンターパートおよび長期専門家に対して面談を行い、実績および評価関連情報を収集した。面談対象者は下記のとおり。

カウンターパート (VCA)	Mr. Trinh Anh Tuan, Head of International Cooperation Board, Ms. Tran Thi Minh Phuong, Mr. Le Thanh Son, International Cooperation Board
	Working Group 1: Mr. Cao Xuan Hien, Deputy Head, Antitrust Investigation Board (WG1 Leader), Mr. Cao Xuan Quang, Investigator, Unfair Competition Investigation Board,
	Working Group 2: Mr. Nguyen Duc Minh, Deputy Head, Antitrust Investigation Board (WG2 Leader)
	Working Group 3: Ms. Pham Chau Giang, Deputy Head, International Cooperation Board (WG3 Leader)
長期専門家	Chief Advisor 田中久美子氏 (JFTC)

● 関連資料・情報の収集

上記面談時に本プロジェクトの成果として作成された印刷物の他、関連データを VCA および長期専門家から入手すると共に、関連情報をインターネットに掲載されている広報情報から入手した。

3. データ分析方法

上述の収集資料・データを基に、定量的および定性的な情報内容について、情報提供者に確認、整理を行った。またこれらの情報・データを基に実績グリッドに「終了時評価結果」および評価結果を評価グリッドに記入した。最後にカウンターパートとの確認を経て、ミニッツの添付資料とした。

4. 評価調査の制約・限界、など

終了時評価調査自体は限られた日程であったため、カウンターパートおよび長期専門家からの情報収集を主な拠り所として評価を実施した。

競争政策および競争法はベトナムの市場経済化の促進に資する政策・制度であり、プロジェクトは競争当局である VCA のキャパシティ向上を主眼としてきた。これまでの活動をとおして、競争制限行為より不公正競争行為の摘発件数が多く、競争制限行為に関しては、航空燃料のケースが初めての決定だった。これら結果を得ても、ベトナム市場経済へのインパクトといったマクロ的側面からの評価はこれからの課題であり、今回調査ではカバーできていない。

また、終了時評価時点でまだ5ヶ月間ほど協力期間を残している段階であり、完了していない個別の活動もあったため、評価するための情報が得られていない活動もあった。

本プロジェクトは政策・制度面のアドバイスと知識・経験の移転を通じた技術協力であり、評価対象となる活動はセミナー、ワークショップ、本邦研修、長期専門家による日常的なアドバイス活動、情報の提供、コンサルテーションなど、いずれもそのアウトプットは定性的に記述される活動といえ、対象事業の性格上、定量的な評価分析を示すことは困難である。従って、当事者および関係者による3段階評価（達成、ほぼ達成、未達成）による評価を採用することとした。

第3章 プロジェクトの実績

1. 協力内容と実績の概略

(1) PDM (2009年7月改訂) で合意された協力内容と実績評価

上位目標

ベトナム国内の市場において公正・公平な競争が促進される。

実績評価：競争違反ケースの調査・摘発は2007年の5件に対し、2008年13件、2009年13件と増大した。また、社会の認識は2009年度の航空機燃料販売における独占的地位の濫用事件に対する処分決定で高まった。

プロジェクト目標

VCAが競争法施行・競争政策を効果的に実施できる体制が整う。

実績評価：競争違反ケースの調査・摘発の実績の他、個別の産業8セクターに対する競争政策の提言を行なった。また、VCAの組織、スタッフ、予算のトレンドでは、2009年にVCADから法執行力を持つVCAに格上げされ、人員・予算とも増大しつつあり、施行体制は整いつつあると評価できる。

成果

1. VCAの審査機能が向上する。

実績評価：ほぼ達成。技術協力活動はタイムスケジュールに沿って的確に実施された。また、これらの活動は受益者（主としてVCAスタッフ）と常駐専門家との間の緊密な協力によって進められた。2009年から毎月第二金曜日に開催されている月例ケース・スタディ、審査官向けのワークショップ、本邦研修などを通じてVCAスタッフ（とりわけ審査官）は日本における競争法事案の審査手法を学ぶことができ、実務に適用している。

2. 政府内、企業、消費者、アカデミック層に対し、競争法に関する知識が啓蒙・普及される。

実績評価：ほぼ達成。関連活動は円滑に実施。例えばM&Aに関するHCMCにおける会議は2009年7月に成功裏に開催され、経済界、法律事務所、メディアなどに対するアドボカシーがなされた。また、VCAのブローチャーは専門家のアドバイスによってVCAのイメージを高めるものとして印刷され、関係省庁等に配布された。

活動

1-1. 審査活動の現状分析を行い、問題点を特定する。 **実績評価：達成**

1-2. 助言を得た審査活動を通じて、審査能力の向上を諮る。 **実績評価：達成**

1-3. 必要なガイドライン、審査官のためのマニュアル等を作成する。 **実績評価：達成**

1-4. 市場確定の手法に係る技術の向上を図る。 **実績評価：未達成（2010年1月時点）**

1-5. ターゲット市場における競争上の問題点を把握するための市場調査を実施する。

実績評価：ほぼ達成

1-6. 1-1～1-5の活動に基づき、審査官研修センターにおける研修プログラムを策定し、実施す

る。実績評価：達成

- 1-7. 組織された作業グループにおいて審査の観点から情報センター（CCID）の機能を構築し、必要および実現可能な範囲で活動を実施する。実績評価：ほぼ達成
- 1-8. 研修センターの設立のためのコンセプト案を策定する。実績評価：達成
- 2-1. アドボカシーを担当する作業グループを組織する。実績評価：達成
- 2-2. 効果的なアドボカシーの方法について検討する。実績評価：ほぼ達成
- 2-3. 2-2に基づきアドボカシー活動を実施する（セミナー、ワークショップ、リーフレット等）
実績評価：ほぼ達成

（2）投入の実績

投入金額の合計：47,785（千円）

日本側の投入

- ・ 専門家派遣：長期専門家1名(公正取引委員会：JFTC)、短期専門家5名(JFTC)
- ・ 本邦研修：4回（実施済み3回、予定1回）
- ・ プロジェクト経費：41,259（千円）

ベトナム側の投入

- ・ カウンターパートの配置：主カウンターパート（VCA 国際協力局長）および3つのワーキング・グループの設置（メンバー合計16名）
- ・ 日本人専門家の執務スペース（VCA 内6階）
- ・ プロジェクト経費：6,526（千円）

2. プロジェクトによる実績・成果

（1）上位目標に対応した実績

上位目標である「ベトナム国内市場における公正・公平な競争の促進」の達成度を示す指標として、競争法違反ケースへの調査・摘発とベトナム社会の競争法に対する認識の向上に関する実績を下記に示す。

1-1) VCA による競争違反ケースの調査・摘発

2008年度は16件（13件は不公正競争事案、3件は競争制限事案）の審査を行い、このうち行政処分に至った件数は13件（全て不公正競争事案）であった。また、2009年度は17件（14件は不公正競争事案、3件は競争制限事案）の審査を行い、このうち13件（12件は不公正競争事案、1件は競争制限事案）であった。

ベトナム競争法の違反行為について（解説）

ベトナムの競争法では違反ケースを大きく分けて不公正競争行為に関する事案と競争制限行為に関する事案とに分類し、現在の制度では前者に対する行政処分の決定権限は VCA にあるが、後者に対する行政処分の決定権限は VCA の上部機関として位置づけられる VCC(Vietnam Competition Commission)によることとなっている。下の表は競争法違反行為の主な内容と VCA と VCC の役割を整理したものである。

競争法違反行為と VCA と VCC の役割

不公正競争行為 (Unfair Competition Acts)	競争制限行為 (Competition Restriction Acts)
<ul style="list-style-type: none"> ● 不当表示 ● 営業秘密の侵害 ● 虚偽広告 ● 営業妨害 ● 過剰景品販売 ● マルチ商法 	<ul style="list-style-type: none"> ● 競争制限的合意：カルテル（価格、数量）、市場分割、入札談合 ● 市場における優越的地位の濫用：独占的・優越的地位の濫用（不当価格、不当廉売、新規参入制限など）
端緒処理および審査：VCA	端緒処理および審査：VCA
行政処分の決定：VCA	行政処分の決定：VCC

出典：VCA 資料およびヒアリング結果より調査団作成

不公正競争事案としては、2009 年には 12 件の決定が VCA により行なわれており、そのうち 11 件については課徴金が課せられた。違反内容としては、虚偽広告、営業妨害、マルチ商法などである（下記表参照）。また競争制限行為に関しては、処分に至ったのはこれまでのところ 2009 年の 1 件のみである（航空機燃料のケース：次項参照）。

VCAによる不公正競争審査・決定実績（2009年、処分等決定済み12案件）

No.	年月	不公正競争の嫌疑	決定内容
1	2009/2	営業妨害・他社への誹謗・中傷	違反なし
2	2009/3	虚偽広告	課徴金VND30mill
3	2009/4	虚偽広告	課徴金VND20mill
4	2009/5	他社への誹謗・中傷	課徴金VND7mill
5	2009/6	マルチ商法	課徴金VND140mill
6	2009/6	他社への誹謗・中傷	課徴金VND7mill
7	2009/6	不公正な営業活動	課徴金VND7mill
8	2009/6	不公正な営業活動	課徴金VND30mill
9	2009/7	マルチ商法	課徴金VND280mill
10	2009/7	不公正な営業活動（直接比較広告）	課徴金VND30mill
11	2009/8	不公正な広告	課徴金VND40mill
12	2009/8	不公正な広告	課徴金VND30mill

出典：VCA資料より調査団作成

1-2) 社会の競争法に対する認識の向上

アドボカシー活動を通じたベトナムの経済界および一般社会に対する競争政策および競争法の認識の向上のための活動も重要であるが、競争違反行為に対する摘発はマスコミを通じて広く一般に周知され、事案によっては国際的な話題ともなる。上述の不公正競争事案は既に毎年10件以上の摘発に至っているが、競争制限行為に対する摘発の実績は2008年までは1件もなかった。2009年4月に航空燃料販売における独占的地位の濫用のケースが競争制限行為に関する初めての摘発で、VCAによる審査を経てVCCによる行政処分決定に至った。事案の内容を下記のとおり紹介する。

航空燃料供給サービスに関する独占的地位の濫用

ベトナムの空港における航空燃料はベトナム航空の100%子会社である Vietnam Aviation Petroleum Company (Vinapco)が独占的に供給している。この事件は2008年4月に Vinapco が Jetstar Pacific Airline に対するジェット燃料の供給を拒否したため、同エアラインの利用者5,000人が影響を受けた件である。Vinapco は Jetstar が燃料代の支払いをしなかったことを燃料供給拒否の理由とした一方、Jetstar は燃料代の値上げが不当であることからこの行為が競争法の独占的地位の濫用に相当すると訴えたものである。

VCC は VCA による審査結果を受け、事件から一年後の2009年4月に Vinapco の行為が独占的地位の濫用に相当するとして、Vinapco に対して33.7億ドン(\$189,000)の支払いを命じた。また、Jetstar は Vinapco をベトナム航空から分離することも求めた。新聞報道によると、ベトナム航空は Vinapco の分離は燃料の安定供給に影響が出るため国益に反すると主張した一方、国营石油販売会社である Petrolimex の出資によりより資本力のある航空燃料供給会社の設立案も浮上している。最終的に VCC は分離に対する決定は下していない。

ベトナムの航空行政を司る Civil Aviation Administration of Vietnam(CAAV)の見解では、航空旅客の便益を損ねるという理由で、今回の航空燃料の供給停止行為は支持されないとしえている。Vinapco は VCC の決定を不服として裁判所に提訴したが、2010年1月時点ではまだ判決は下っていない。

出典：Saigon Times サイト (<http://english.thesaigontimes.vn>)

(2) プロジェクト目標に対応した実績

プロジェクト目標である「VCA が競争法施行・競争政策を効果的に実施する体制が整う」に対応した実績としては、上記の競争法違反ケースの摘発以外に下記の点を示すことができる。

2-1) VCA による競争政策に関連した提言活動

多くの産業分野で競争法に関する知識・情報が行き渡っていないことにより、産業セクター別に監督官庁および事業者団体等に対して競争法の考え方を説明し、提言を示した。対象となった産業セクターは鉄鋼業、銀行、通信、薬品、海運、電力、航空および石炭の8業種であった。

このうち鉄鋼業に関しては、業界団体である「ベトナム鉄鋼業協会」加盟の複数の鉄鉦業者が価格カルテルを結んで価格急落の防止を図った疑いがあり、VCA が調査に乗り出し

たということが 2008 年 10 月に報道された⁸。この背景には国内の鉄鋼需要の減少による市場価格の急落があったが、鉄鋼業界の団体の会員企業が価格の急落を防ぐために販売価格帯を設定に合意したものである。本件には競争法のルールに対する理解不足という面もあり、最終的には摘発に至らず、行政指導で終結したとのことであるが、その課程で VCA からは提言を行った。

2-2) VCA の組織、スタッフ、予算のトレンド

VCA の役割がベトナム社会において重要視されてきたことを反映し、政府内で VCA の組織強化への動きがプロジェクト期間中の下記事象に示されている。なお、VCA の組織図を章末に示す。

- 2009 年 7 月：VCA の名称変更、VCAD (Vietnam Competition Administration Department) から調査・行政処分の執行力を持つ VCA (Vietnam Competition Authority) へ名称を変更した。
- VCA の職員数は 2008 年の 60 名から 2009 年の 85 名に増員された。今後も増員を計画している。
- VCA への国家予算は 2008 年の VND 9 million より 2009 年には VND 16.5 million に増額した。
- VCA の地方事務所の設置は、ホーチミン市 (2007 年設置) に次いで 2009 年 11 月にダナンにも設置された。

(3) プロジェクトの成果

3-1) 長期専門家の派遣

本プロジェクトがスタートした 2008 年 9 月に公正取引委員会 (JFTC) から JICA 長期専門家として 1 名が 2010 年 6 月までの任期で VCA のチーフ・アドバイザーとして派遣された。同専門家は上記活動内容に示される VCA の審査能力の強化、研修プログラムの策定、市場調査の実施、情報センターの機能強化、アドボカシー活動への協力を進めるとともに、日常的な助言活動の中で VCA スタッフの競争法関連の知識の向上を図り、具体的事案に関連した助言活動も展開した。同専門家が実施した主な活動実績は下記に示すとおりである。

VCA の審査機能の向上に関連した活動

● VCA の審査事案に関連した助言

具体的な競争法違反事案への助言に関しては、競争制限行為に関する事案数が少ないこともあり 2 件に留まったが、これ以外にベトナム社会の競争法への認識を高めることと、審査ガイドラインに関する助言を実施した。

● 月例プレゼンテーションの実施

専門家の発案により、2009 年 4 月より毎月第二金曜日に日本の経験の情報のインプットをより能動的に行うため、月例のプレゼンテーション (12 件のケース・プレゼンテーショ

⁸ The Daily NNA ベトナム版 (2008 年 10 月 20 日)

ンを実施済み) をスタートさせ、毎月開催している。これには毎回 10 名前後の VCA スタッフが参加しており、日本から大学関係者が来訪したときにも、この場を利用して学者の視点からのケースの紹介を行った。これによって VCA スタッフとのコミュニケーションが高まり、技術移転がより円滑に実施された。

● 審査マニュアル等の作成

VCA スタッフを対象とした審査マニュアル (ベトナム語) を内部参考資料作成、500 部印刷し、VCA スタッフをはじめ裁判所など関係政府機関などに既に 150 部配布した。また、VCA スタッフ向けの Q&A 集の作成も計画中で、現協力期間中に作成の予定である。

● 市場調査の実施

市場調査は 2 件以上を計画し、1 件 (粉ミルク) は実施済み、もう 1 件は金融セクターを当初計画したが、現状の体制では実施が困難であるため、現プロジェクト期間中の実施は取りやめることとなった。ベトナムでは国内における商品の生産統計、市場における販売実績、輸出入実績などに関する統計の精度が高くないため、特定商品の市場調査は容易ではない。既存統計に頼らずに VCA が独自にデータ収集を実施するには時間と手間がかかることから、「粉ミルク」の調査にも想定以上の時間がかかった。

● セミナー・ワークショップへの参加

競争法関連のセミナー・ワークショップは VCA、他のベトナム政府機関、JICA および他ドナーの主催により開催され、VCA および主催者の要請に応じて長期専門家が参加した。主な行事を下記に示す。

日 時	セミナー・ワークショップ
2008/10	VCA-FIA の主催による M&A に関するセミナー (ハノイ、HCMC)
2008/11	フランスの法律系の団体 (Maison du Droit) の主催により、裁判官を対象としたセミナー兼研修 (ハノイ、HCMC)
2009/3	JICA 主催による「事業者団体」に関するセミナーと、審査技術、市場調査及び研修をテーマに職員研修 (ワークショップ)。
2009/3	VCA の情報センターである CCID (Center for Competition Information and Data) による定期開催フォーラム (ハノイ)。
2009/5	VCC (Vietnam Competition Council) 主催による Asian Competition Forum (ハノイ)。
2009/8	US FTC の主催による ASEAN による各国参加によるトレーニングコース (ダラット市)。
2009/9	JICA 主催のハイフォン・セミナー、テーマは不公正取引、不当表示と取引妨害のケースを紹介。
2009/11	JICA 主催の地方でのフォーラム (ダナン市)。
2009/12	JICA の本邦研修として、名古屋でのセミナーに VCA 局長とともに参加。

競争政策および競争法に関するアドボカシー関連の活動

● アドボカシーのためのパンフレットの作成

配布用印刷物としては、VCA の概要を紹介した「VCA Brochure」を、日本の公正取引委員会 (JFTC) の概要を参考に作成、英語・ベトナム語で印刷し、配布した。また、競争法

の概要を紹介した「Overview of Competition Law」の改訂・印刷を英語・ベトナム語で行った。CCIDによるガイドンスの印刷も計画中である。

● セミナーへの参加

アドボカシー目的のセミナーへの参加実績は上記セミナー・ワークショップへの参加リストに示されている。これらのうち、特に M&A に関する内外の企業向けのセミナーが複数回開催されている。この背景には、外国投資によるベトナム企業の買収や合併に対する制約について関心があることによるもので、2008 年 10 月の M&A に関するセミナー（ハノイおよびホーチミン市）は、VCA と計画投資省の下部組織である外国投資庁（FIA）との共催で開催された。

3-2) 短期専門家の派遣

合計 5 名短期専門家が、下記のベトナム国内で開催されたセミナーあるいはワークショップの機会に JFTC から派遣され、セミナーのスピーカーあるいはワークショップの講師として活動を実施した。

期間	活動内容	専門家数
2009/3/3-3/7	セミナーおよびワークショップへの参加。ワークショップのテーマは市場調査、事業者団体とカルテル、審査手法と研修	3 名(JFTC 職員)
2009/7/19-7/21	M&A をテーマとした国際セミナーにスピーカーおよびパネリストとして参加。プレゼンテーションのテーマは”International Legal Aspect of M&A”。	1 名(JFTC 委員)
2009/9/15-9/19	不公正競争を主題としたワークショップに講師として参加。プレゼンテーションのテーマは”Misleading Representation”	1 名(JFTC 職員)

3-3) 本邦研修

評価時点で下記のとおり 3 回の本邦研修を実施済みであり、2010 年 4 月に 4 回目の本邦研修を実施予定である。

期間	活動内容	専門家数
2009/3/15-3/31	研修内容：日本の独占禁止法の歴史と概要、審査・事情聴取の方法、リエンシー制度、地域事務所（大阪）の機能、ケース紹介。	5 名(VCA 職員)
2009/9/27-10/10	「効果的な競争当局」を主テーマとしたセミナーへの参加し、日本における競争法の展開、中小企業と競争法、適用除外の紹介などを研修。JFTC 以外に経団連、法律事務所などを訪問。	5 名(VCA 職員)
2009/12/10-12/16	名古屋大学にて開催された「法整備支援戦略の研究」の	2 名(VCA 局長)

	うち「ベトナム競争法における法整備支援の現状と課題」 に VCA 局長が基調講演のスピーカーとして参加。	および職員)
--	---	--------

3-4) VCA 側の協力体制

VCA によるプロジェクト実施体制としては、3つのワーキング・グループ（審査、人材育成、アドボカシー）の設置が2008年11月25日付けのVCA局長のDecision⁹により決定され、各WGのリーダー3名とメンバー(1グループあたり5-6名)13名の任命もなされた。この決定は日本人専門家のための特別措置であり、WGのリーダーにはBoard（課）Deputy Head（課長補佐）レベルのスタッフが当てられ、WGに動員された人数はリーダーを含み16名である（2008年時点でのVCAの職員数は60名）。これによって長期専門家と共にプロジェクト活動を実施する体制は、VCAの執務室などハード・インフラとともに整備された。

ワーキング・グループの構成

	人数*	リーダー名
WG-1（審査）	5	Mr. Cao Xuan Hien, Deputy Head, Antitrust Investigation Board
WG-2（能力強化）	6	Mr. Nguyen Duc Minh, Deputy Head, Antitrust Investigation Board
WG-3（アドボカシー）	5	Ms. Pham Chau Giang, Deputy Head, International Cooperation Board

*リーダーを含む人数

しかしWGの活動が全て円滑に展開されたわけではなかった。WGはPDMで決定した活動を実行するために設置されたが、夫々の活動の実行段階になると、各WGの長又はメンバーとは別のスタッフが個々の活動の担当者になることもあり、各WGと今後の活動内容を議論してもなかなか活動が具体化せず、長期専門家から示唆・提案をしてもそれに具体的に反応することができなかったこともあった。この点はVCAのスタッフの経験および能力不足の表れであったと考えられる。

WG1（審査）に関しては、審査対象事案が元々少なく、テーマとしては3つのWGの中で最も難易度が高いものであったこともあり、グループの活動があまり活発でなかったことは否めない。他方、WG3（アドボカシー）に関しては、個々の活動目標がセミナーの開催や印刷物の作成などと、自ら活動することで具体化するものであったことから、比較的活発に活動が行われた。WG2（人材育成）は、予定されている審査員研修センター(CTI: 詳細は下記参照)の設置が遅れており、評価の時点で設置の決定はなされたが、活動はまだ始まっていない。

VCAによるワーキング・グループ設置の機関決定という組織的な体制整備は高く評価される。しかし、競争法をめぐる現在の経済環境および構成員の経験・能力不足から、個々の活動の実務部隊としてのWGの機能は、今後改善の余地があるものと考えられる。

⁹ Ministry of Industry and Trade VCAD No. 96/QD-QLCT Decision about: Setting up and promulgating the working regulation of Working Groups with Japanese Specialist(2008/11/25)

Center for Training Investigators (CTI)について

センターの設置については VCA 局長の承認済み。人員は当面 3 名が兼務で配置され、1 名を新たにリクルートし 4 名体制でスタートする。兼務の 3 名は次のメンバー。

- 1) Mr. Son, DDG: Director of CTI
- 2) Mr. Hien, Antitrust Investigation Board
- 3) Mr. Que, Unfair Competition Investigation Board
- 4) (new recruit)

センターの活動内容は主として次の点にあるが、当面は 1) だけ注力する。

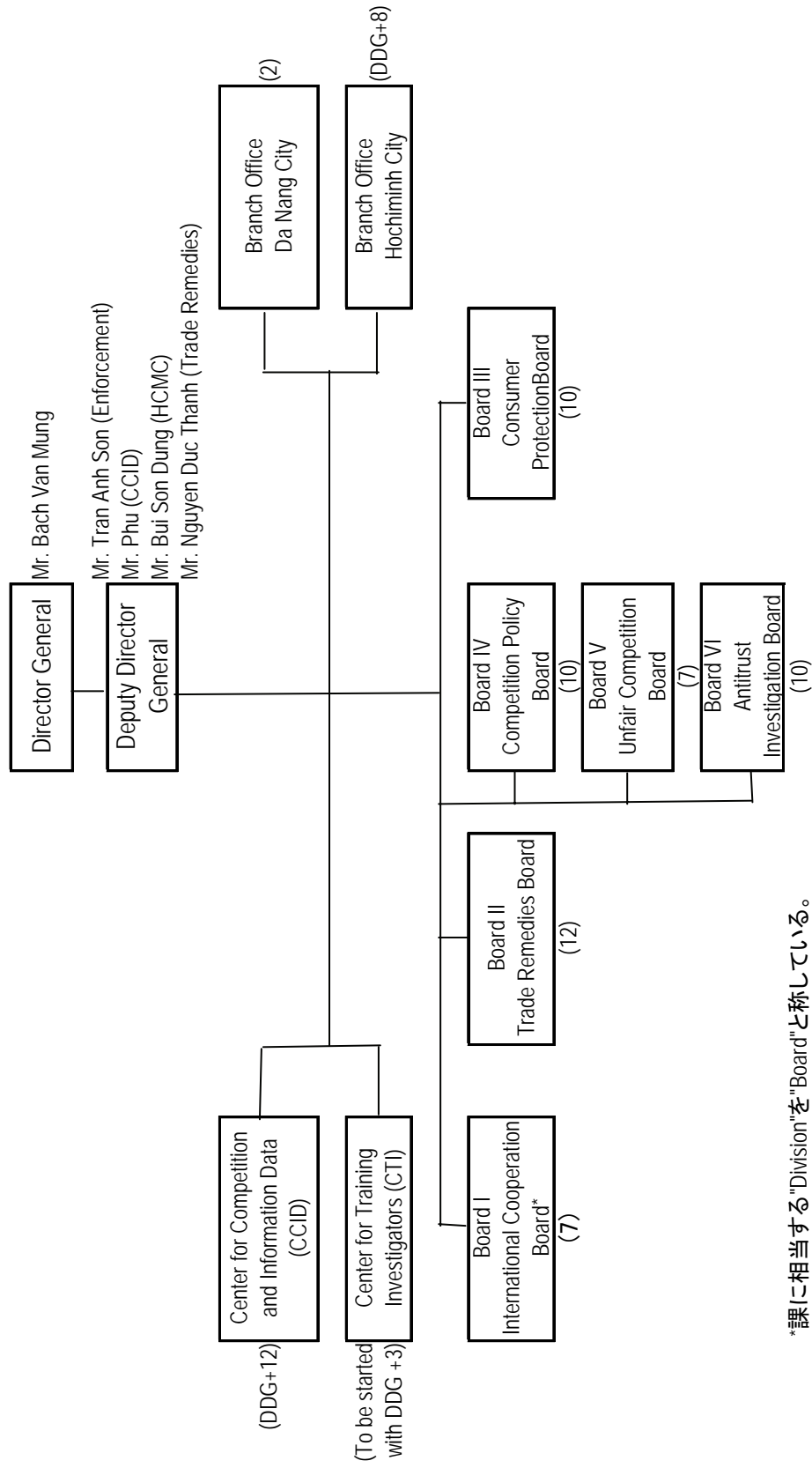
- 1) 競争法と市場に関する知識を深める。(VCA 職員を対象) 修了者には認定証を発行する。レベルは初心者向けと中高度レベルとに分けて実施、講師には VCA スタッフ、大学教授（特に警察大学）を想定するが、外国からの協力も受け入れる。
- 2) 調査研究機能：経済、法律、競争政策と競争法の分野での調査・研究機能を持たせる。このため、Board IV(competition Policy), V(Unfair competition) VI(Antitrust)と協力して人材を強化する。
- 3) 企業からの要望により、教育・啓蒙活動の実施

今後、センターが設立されたら、より系統だった競争法への取組を進めたい。ベトナムの現状では競争制限的行為である「独占的地位の濫用」やカルテルのケースは少ないが、このような事案にも取り組めるよう能力を高めたい。

(情報源：2010 年 1 月現地調査時の調査団による VCA スタッフへのインタビューによる)

VCAの組織図(2010/1現在)

(カッコ内の数字は人数)



*課に相当する"Division"を"Board"と称している。

出典：VCA概要（Brochure）およびインタビュー結果をもとに調査団作成

第4章 評価結果

1. 項目別評価

(1) 妥当性

ベトナム経済は年率 4.6%¹⁰の成長を続けており、政府は 1986 年のドイモイ政策の導入以来一貫して市場経済化の推進を図り、外国投資の導入、国営企業の民営化、企業法の改定による新規企業の市場参入促進と規制緩和など、具体的な政策を展開している。また 2007 年の WTO 加盟を契機に、国際経済との接点の拡大や国際市場ルールとの調和化を進めている。市場における自由な競争を保証する競争政策と競争法の施行は、ベトナム政府の重点施策の一つとして引き続き推進されている。

2004 年のベトナム競争法の制定と競争当局である VCA（当時は VCAD）の設置により、競争法施行を機能させるための枠組みは整った。しかし、法律に照らした違反行為の摘発、調査、審査などの実務面での経験が不足していることから、VCA の法施行実施能力を高める必要性は高い。ベトナム政府は 2006 年に VCAD(Department)を法的執行権限のある VCA(Authority)に格上げし、2007 年のホーチミン市事務所開設、2008 年の情報データ・センター（CCID）設置、2009 年のダナン市地域事務所設置など、組織的に拡大・強化を進めている。職員の数は 2007 年の 40 名から 2009 年には 85 名に急増している。

競争法違反事案に対する対応としては、2006 年に端緒処理 10 件、審査 3 件、決定 1 件であった取扱件数は、2009 年には端緒処理 26 件、審査 17 件、決定 13 件と推移している。競争法施行のニーズは高まっており、今後も益々増大することが予想される。

VCAが扱った競争法違反事案件数の推移（2006-2009）

		不公正競争事案	競争制限事案	合計
2006	端緒処理	8	2	10
	審査	1	2	3
	決定	1	0	1
2007	端緒処理	14	3	17
	審査	5	1	6
	決定	5	0	5
2008	端緒処理	15	5	20
	審査	13	3	16
	決定	13	0	13
2009	端緒処理	19	7	26
	審査	14	3	17
	決定	12	1	13

出典：VCA Brochure

特に市場の独占行為を制限する競争制限事案に関しては、初めて決定を下す案件が 2009 年に 1 件（航空燃料のケース）あり、VCA の機能強化に伴う実績として評価することができ

¹⁰ 2009 年（IMF）

る。

一方、日本政府はベトナムに対する援助方針（対ベトナム援助展開計画 2009）において競争政策への支援を明示しており、本件支援は政府の方針とも合致している¹¹。JICAによる技術協力としては、設立直後の VCAD に対するキャパシティ・ビルディングのため、2005 年から 2006 年にかけて開発調査「競争法施行に係るキャパシティ・ビルディング計画支援調査」を実施しており、日本の公正取引委員会の専門家および学識者による技術移転活動を実施してきた。本プロジェクトは、そこで提言された能力強化の方向性に沿って要請されてきた経緯がある。

本プロジェクトによる協力はベトナム側のニーズに合致し、またベトナムの市場経済の進展、日本の援助方針とこれまでの技術協力の実績から、妥当性の高い協力として評価することができる。

（2）有効性

有効性に寄与した要因の一つとして、長期専門家（常駐型のアドバイザー）が VCA スタッフと日常的に接点を持つ中で、審査をはじめとする能力の向上が図られたことが挙げられる。とりわけ、同専門家のイニシアティブにより 2009 年 4 月から職場内で月例（毎月第二金曜日）のプレゼンテーションを開催し、日本の事例を中心に紹介し、毎回 10 名程度の VCA スタッフの参加があった他、審査手法に関して個別の相談にも答えた。このような形の技術協力は、1～2 ヶ月程度の短期間滞在であった他のドナー（スイス、韓国）の専門家では果たせない役割であり、様々な面でアドバイスと知識を必要とする VCA の現状に対して極めて有効であったと評価できる。

また、公正取引委員会からの短期専門家派遣（市場調査、カルテル、事業者団体、不公正取引（虚偽表示）など）や国別研修実施により、市場調査やカルテルといった特定分野や日本の競争政策など、日本の経験を共有できたことも技術協力の効果を高めたと評価できる。カルテルなどの競争制限的行為はベトナムの市場環境において、まだ法律違反という社会の認識が十分ではない。例えば、事業者団体がカルテルの話し合いの場となっていながら、それが競争法違反という認識がなかったというケースもあった。このような状況で、日本における独占禁止法施行の取り組みの紹介は、VCA が取り組むべき端緒処理および審査への実務的な取り組み方について、具体的な参考となった点も有効性を高めたといえる。

なお、プロジェクトの有効性を確保するうえで重要な外部条件のひとつである VCA の幹部および関係スタッフの異動によるプロジェクトへの影響は見られない。むしろ、新規採用職員の増加による能力強化ニーズが大きい。

（3）効率性

2009 年 7 月に PDM の見直しを行ない、上位目標とプロジェクト目標の指標をそれぞれ計測可能なものに改めたほか、成果指標に関しても数量を明記した。また、日本側・ベトナム側の費用負担区分を明確にし、ミニッツを締結した。日本側の投入コストは約 44 万ドル（長短期専門家、本邦研修、出版物作成、セミナー開催等）、ベトナム側が約 7 万ドル（VCA ス

¹¹ [開発課題への日本側の対応方針]のうち(a)経済制度整備・運用に競争政策が記述されている。

タッフの旅費等)としており、コスト分担を明示したため、事業の実施に対する責任分担がより明確となり、結果として効率的な運用が可能となった。

長期専門家の執務室はVCAがオフィスの6階(VCA局長は5階)に用意し、カウンターパート・スタッフとのコミュニケーションが円滑に図られた。同執務室には、オフィス家具、PC、応接セットなどが設置され、アシスタントが一名常駐している。

長期専門家と共にプロジェクト活動を実施する体制・機能として、VCAは「審査」、「人材育成」、「アドボカシー」の3つのワーキング・グループを2008年11月のVCA内部規定により発足させ、各ワーキング・グループのリーダーおよびメンバーが正式に任命された。これによってテーマ別の責任分担が明確になり、活動目標の設定と実行の見通しが立て易くなった。

上記の費用負担の明確化、専門家の執務環境、ワーキング・グループ設置の結果、セミナー、ワークショップの運営および派遣された長期・短期専門家の活用が効率的に行なわれた。

(4) インパクト

VCAはベトナムの競争法施行を下記の3つのフェーズに分けて考えており、本プロジェクトは競争法の施行にとりかかり、実際の違反事案を扱い始めるフェーズに該当している。また、2010年以降は施行実施の経験から競争法を見直し、改定作業を行う期間としている。

2005-2007	施行準備期間
2008-2009	施行期間
2010-2011	見直し改定期間

評価時点でプロジェクトは開始して1年4ヶ月程度経過したところであり、長期的な観点からのインパクト発現にはまだ時間がかかる。しかし、次に示す事象からインパクトが確認された。

- 産業界や学識者などから、競争法・競争政策に関する相談や照会件数が増えてきた。相談・照会を寄せるのは、ほとんどが企業および法律事務所である。事案として端緒処理に至ったのは2008年には20件(うち5件が競争制限事案)、2009年には26件(うち7件が競争制限事案)にのぼった。
- 実際の審査案件を対外的に公表することにより、産業界等に競争法・競争政策の重要性を気付かせることのインパクトの大きさに、VCA自らが気付き始めた。特に競争制限行為として2009年4月に初めて処分を決定した航空機燃料の事案は、国内外の報道に何度も取り上げられ、ベトナム競争法とVCAの存在が広く知られる結果となった。
- 審査案件を試行錯誤により多数取り扱うことにより、自らの執行体制や競争法の不備について認識し、それを改善していこうという気構えが醸成されてきた。
- 大都市だけでなく、地方都市でもワークショップ等を開催し、全国的な競争法・競争政策の認知度向上を目指している。

(5) 自立発展性

市場調査や職員研修モジュールの作成など、プロジェクト協力期限までにこれから取り組

む活動がいくつかあるが、VCA の能力強化の取り組みはまだ始まったばかりである。これまでの成果を根付かせ、活用し、より長期的な観点から適切且つ持続的な人材育成のための体制整備に取り組む必要があり、これには VCA による更なる努力と日本による支援が必要とされる。

2. 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容に関すること

- ・ 公正取引委員会から長期・短期専門家の派遣、国別研修の受け入れなど、全面的なサポートが得られた。
- ・ ベトナム側の政策に一貫性があり、VCA の権限が高められ、組織が拡大した。組織の拡大により経験の浅い VCA スタッフの能力強化のニーズが高まっているが、適切に能力強化が実施されれば、将来的には組織拡大により、より大きな協力効果の発現が期待される。
- ・ ベトナムの市場経済の発展とともに競争法に関連した相談件数や審査対象案件が増大しており、2009 年には「競争制限的行為」に関する初めての事案で処分決定がなされた。

(2) 実施プロセスに関すること

- ・ 専門家の赴任から 10 ヶ月経過した時点（2009 年 7 月）で PDM の見直しが行なわれた。見直しの背景には、それまでに収集した情報や実施してきた活動結果を基に、指標をより明確にするとともに、個別活動計画をログフレームに整理し、VCA 側の担当者を明確にする必要性があった。この見直しにより、費用負担区分を含む業務の実施の責任が明確になった。
- ・ VCA が 3 つのワーキング・グループ（審査、人材育成、アドボカシー）を設置し、カウンターパートの役割機能を強化した。これらワーキング・グループは VCA の組織決定（General Director の Decision¹²）によって設置されたもので、各グループのタスク、グループ・リーダーの責任、グループ・メンバーの責任などが記載され、3 名のリーダーと 13 名のメンバーが指名されている。これによって、プロジェクトの実施前にはなかったプロジェクト実施体制が整った。
- ・ 専門家のイニシアティブにより月例プレゼンテーションが開催され、コミュニケーションの活発化が図られた。

3. 問題点及び問題を惹起した要因

(1) 計画内容に関すること

- ・ VCA の組織拡大に伴い多くの新規職員の採用が行なわれたため、業務経験の浅い職員が増加した。こうした職員は競争法に関する基礎的な知識の不足が見られたため、これら職員に対する効果的な技術移転には限界があった。
- ・ 競争法違反案件の実例数が少ないため、実際の事案に基づいて長期専門家がアドバイスを提供する機会が限定的にならざるを得なかった。

¹² Ministry of Industry and Trade VCAD No. 96/QD-QLCT Decision about: Setting up and promulgating the working regulation of Working Groups with Japanese Specialist (2008/11/25)

(2) 実施プロセスに関すること

VCA が設置したワーキング・グループによる活動は、PDM に沿って各担当分野（審査、人材育成、アドボカシー）をカバーすることとなっていたが、夫々の活動の実行段階になると活動の具体化が進まない場面があった。これはグループによって対象とする活動内容が異なり、例えば、グループ 1（審査）の活動は難易度が高いものであり、グループ 3（アドボカシー）はセミナー、出版物など個別の活動が具体的であったということもあり、ワーキング・グループの活動は均一とはならなかった。ワーキング・グループの設置は、VCA による活動体制の整備という観点から評価できるが、一部のワーキング・グループの活動については期待されたほど具体的な成果の発現が難しかった面も否めない。

4. 結論

VCA のオーナーシップの醸成および長期専門家と公正取引委員会による惜しみない協力により、予定していたプロジェクト活動の多くが実施され、プロジェクト目標も大部分において達成したものと判断できる。しかし、ベトナム政府が重要政策に位置付けている競争政策の取り組みはまだ緒に付いたばかりであり、競争当局である VCA の審査機能をはじめとする競争政策施行の実務能力の向上は引き続き図っていかねばならず、VCA はまだ努力が必要である。

最も大事な点は、VCA が単に審査能力の向上に取り組んだり、啓蒙普及活動を拡大したりしてきたことではなく、VCA が実際の事案を公表することで国民に競争法・競争政策の重要性を気付かせ、またそれを顧みることにより VCA 自身が法執行体制や競争法における具体的な不備を認識し、改善策を考える力が養われつつあることである。

第5章 提言と教訓

評価調査の結果、調査団としての導き出した提言と教訓は次のとおり。

1. 提言

- (1) VCAにおける競争法執行体制の確立が進展しており、また基本的な業務推進が図られつつある。こうしたこれまでの成果を根付かせ、プロジェクト目標を達成するため、またVCAの長官からなされた要請も考慮し、プロジェクト開始当初に想定していた協力期間の延長はやはり必要と判断される。その際には、2010年から競争法の見直し・改定作業が始まり、2012年に改定予定の競争法に対するアドバイスが求められていること、ベトナムにおける競争法・競争政策をめぐる環境の変化にVCAが対応していくためには、引き続き我が国による支援が必要であると考えられること、専門家の十分な活動期間を確保することが効果的且つ適確な技術移転につながることにいったことを考慮し、プロジェクト協力期間を現行の協力期限（2010年6月末）から更に2年間延長することを提言する。
- (2) 仮にプロジェクト期間が延長された場合、プロジェクトの活動と投入は、引き続き現在の規模で行われるべきである。特に人材育成の体制確立は、プロジェクトの自立発展性を確保するうえで特に重要である。また、改定が予定されている競争法に対する助言や、審査スキルなどVCAに必要な助言を日常的に提供できるよう、長期専門家を配置できることが好ましい。
- (3) VCAは経済分析の短期専門家の派遣を要望しているが、これは延長期間内の活動計画策定の際に検討されるべき事項である。

2. 教訓

- (1) 新規職員の採用が増加しているため、彼らの能力強化のニーズが大きい（導入教育）。既存の職員も年齢層が若いため、同様に能力強化が図られなければならないが（再教育）、研修内容や研修方法は当然異なる。既存の職員が新規採用職員を指導する体制が構築できれば良いが、限られた現在の人員体制ではなかなか難しいことが想定される。従って、審査官研修センター向けの研修プログラムの構築と実施はプロジェクト期間内で実施することが困難と判断された。しかし、VCAは長期的な視野をもって、職員の人材育成を図っていく体制を整える必要がある。
- (2) 技術移転に際しては実例に基づいて指導することが最も効果的であるが、競争制限的事案の実例が想定より少なかったため、思うように成果の発現を見ることができなかった。しかし、審査対象案件はその国の状況や国民性の違いによって取り扱い方が変わるものであり、一概に事案の良し悪しを計れるわけでもない。従って、VCAとしては現時点ではむやみに多くの事例を扱うのではなく、しっかりと事案を吟味し、一定の考え方をもって審査処理を行えるような事案の積み重ねを行っていくことが、能力強化につながるものと考えられる。

- (3) 市場調査については、VCA が当初想定していたよりも多くの時間を費やすこととなった。しかし、長期的に意味のある経験を積み重ねることを考えれば、時間を費やして量をこなすのではなく、質の高い成果を残すことの方が重要である。
- (4) 現行の競争法を執行する際に、運備上支障が生じる部分があることが分かってきた。そういった事象を VCA が自ら理解し始めたことこそが、プロジェクトの成果の一つと言えるが、法執行上の支障が逆にプロジェクト目標の達成の阻害要因となっていることにも注目すべきである。これを克服するための支援について今後検討が必要となる。

3. フォローアップ状況

ベトナム側より要望があった、プロジェクト期間延長の可否については JICA 内で検討後、日本政府と協議を行う予定である。

別 添 資 料

- A. 実績グリッド
- B. 評価グリッド
- C. 質問票（VCA 回答）
- D. 署名済ミニッツ
- E. Decision About Setting up and promulgating the working regulation of Working Groups with Japanese Specialist
（ワーキング・グループ設置に関する VCA の決定、英訳）
- F. 収集資料リスト

A. 実績グリッド

ベトナム国競争法施行、競争政策実施キャパシティ強化プロジェクト終了時評価・実績確認表(実績グリッド)

評価項目	評価期間		終了時評価結果	判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法	
	大項目	小項目						
実績の検証	上位目標	ベトナムの市場において公正な競争が推進される。	競争法違反ケースの調査・摘発	処分に至った事案数(2008)：13件(全て不正取引案件)、処分に至った事案数(2009)：13件(12件が不正取引、1件は競争制限行為(初めての摘発))	調査・摘発件数	関係者へのインタビュー	ドキュメントレビュー インタビュー	
	プロジェクト目標	VCAにおける競争政策と競争法の実施のための運用フレームワークが確立される。	社会の認識 1. 競争法違反ケースの摘発 2. 競争政策の提言 3. VCAの組織、スタッフ、予算のトレンド	最近の事例として、2009年4月のVCCIによる航空燃料販売における独占的地位の濫用のケースの摘発により、社会の認識は高まった。この事案は競争制限的行為について初めての事案であった。 処分に至った事案数(2008)：13件(全て不正取引案件)、処分に至った事案数(2009)：13件(12件が不正取引、1件は競争制限行為(初めての摘発)) 8つの産業セクターについての提言：鉄鋼業、銀行、通信、薬品、海運、電力、航空および石炭。 2009年7月：VCA(Department)から法執行力を持つVCA(Authority)へ名称変更。 VCAの職員数：60名(2008)より85名(2009)へ増員。 VCAの予算：VND 9 billion(2008)よりVND 16.5 billion(2009)へ増額 2009年11月：ダナン事務所の開設	報道など一般情報の内容と頻度 件数と内容 件数と内容 VCAの組織関連情報	公開情報、非公開情報 メディア情報 関係者の情報 関係者の情報 関係者の情報	質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメントレビュー 質問票 インタビュー
成果の達成度	成果1. VCAの審査機能の向上	成果1.ほぼ達成(評価スコア2/3) 基本的に協力活動はタイムスケジュールに沿って的確に実施された。また、これらの活動は受益者(主としてVCAスタッフ)と常駐専門家との緊密な協力によって進められた。2009年から毎月第二金曜日に開催されている月例ケース・スタディ、審査官向けのワークショップ、本邦研修などを通じてVCAスタッフ(とりわけ審査官)は日本における競争法事案の審査手法を学ぶことが出来、実務に適用している。	成果1の全体評価	4件の分析と提言(2件は審査活動について、ベトナムでの競争法の認識レベルについて、ガイドラインについて) 12件は月例プレゼンテーションにおいて(8回のセッション)、1件は保険、9件はワークショップにおいて 30名(VCA職員85名のうち)	分析テーマ数と内容 事案件数と内容 職員数と各担当内容	関係者の情報 関係者の情報 関係者の情報	関係者の情報 関係者の情報 関係者の情報	関係者の情報 関係者の情報 関係者の情報
		1-1.VCAの審査活動の分析と提言 1-2.競争法違反事案10件以上の調査と分析 1-3.実際のケースを扱った職員の数 1-4.研修事業の実施：10コース以上(日本およびベトナムにおいて) 1-5.審査のためのガイドライン、マニュアル等参考資料 1-6.実際の審査活動の分野の数	22回の研修コースの実施 2回のワークショップ実施(ハノイ(2009/3)、ハイフォン(2009/9)) 3回の本邦研修の実施(2009/3, 2009/9, 2010/4(計画)) 9回の審査スキル研修の実施 8回の月例プレゼンテーションの開催 1件完了：VCA職員向け審査マニュアル 1件計画中：VCA職員向けQ&A集	2008年の審査件数：16件(13件は不正競争事案、3件は競争制限事案) 2009年の審査件数：17件(14件は不正競争事案、3件は競争制限事案)	研修コース数、参加者数と内容 職員数と各担当内容 資料の種類と内容 分野の数と内容	関係者の情報 関係者の情報 関係者の情報 関係者の情報	関係者の情報 関係者の情報 関係者の情報 関係者の情報	関係者の情報 関係者の情報 関係者の情報 関係者の情報

評価項目	評価段階		終了時評価結果	判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目					
投入の実績	<p>成果2. 競争政策および競争法に関する知識が政府、企業、消費者および学会に広がる。</p>	1-7.市場調査:2件以上の実施	1件の市場調査は実施.粉末ミルク1件の市場調査は中止.金融セクター	件数と内容	関係者の情報	インタビュー結果 ドキュメントレビュー インタビュー	ドキュメントレビュー インタビュー
		1-8.研修センターにおける研修カリキュラム・モジュールの作成・進捗	実施中、期間内に完了。	研修内容	関係者の情報		
		1-9.アンケート調査の結果	回収、評価結果へ反映。	受講者アンケートの結果	関係者の情報		
		成果2の全体評価	成果2.ほぼ達成(評価スコア2/3) 関連活動は円滑に実施。例えばM&Aに関するHCMCIにおける会議は2009年7月に成功裏に開催され、経済界、法律事務所、メディアなどに対するアドボカシーがなされた。また、VCAのプロローグは、専門家のアドボカシーによってVCAのイメージを高めるものとして印刷された。	関係者の情報	関係者の情報		
		2-1.アドボカシー活動:10回以上の開催	10回のセミナーの開催: M&Aに関する2回のセミナー:2008年10月(ハノイ、HCMC) 手続きに関する2回のセミナー:2008年11月(ハノイ、HCMC) 事業者団体に関するセミナー:2009年3月 CCIDの月例フォーラムへの参加(ハノイ、ダナン) ACF国際会議:2009年5月 M&Aに関するセミナー:2009年7月 名古屋での会議への参加:2009年12月 3回のセミナー開催予定 CCIDの月例フォーラムへの参加:2010年3月(HCMC) 南部地方都市での2回のセミナー開催:2010	開催数と内容	関係者の情報		
		2-2.アドボカシーのためのパンフレット:3種類以上	2種類のリーフレット作成済み: - Overview of Competition Law - VCA Brochure 2種類のリーフレット作成予定: - Guidance by CCID - Q&A on Competition Law	パンフレットの種類と出版数	関係者の情報		
		2-3.苦情受付および端緒の確認	2008年の端緒処理案件数:20件(15件は不正競争事案、5件は競争制限事案) 2009年の端緒処理案件数:26件(19件は不正競争事案、7件は競争制限事案)	件数と内容	関係者の情報		
		2-4.企業からの相談件数	多数の相談件数が寄せられ、ほとんどが企業または法律事務所からの相談。	件数、事業分野と内容	関係者の情報		
		投入量、投入の質及び時期は計画通りか。	○投入実績(2010年1月現在) ・長期専門家:1名、JFTCより(2008.9-2010.6) ・短期専門家:5名、JFTCより ・供与機材:なし ・本邦研修受入:3回(名古屋会議参加を含む)、実施予定1回(2010年4月) ・プロジェクト経費(金額):\$440,610	計画と進捗の比較	時期、投入量、投入の質	報告書 関連文書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー

評価項目	評価設問		終了時評価結果	判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目					
外部条件	ベトナム側 ・カウンタートパート -Project Director -Technical Countpart ・日本人専門家の執務スペース ・VCAスタッフの旅費等必要経費	競争政策の方向性に変更がない。	○ 投入実績 (2010年1月現在) ・カウンタートパートの配置 -主カウンタートパート: 国際協力局長 -ワーキング・グループの設置: 3グループ、リーダー3名、メンバー合計16名。 ・日本人専門家の執務スペース: VCA6階601号室 ・VCAスタッフ経費: \$70,680				
		競争政策の方向性に変更がない。	競争政策の変更はなし。				ドキュメントレビュー インタビュー
計画の進捗状況	1-1 審査活動の現状を分析し課題を抽出する。 1-2 アドバイスの提供により審査スキルの向上を図る 1-3 必要なガイドライン、マヌアルの整備 1-4 調査対象市場の確認スキルの向上 1-5 市場調査の実施による反競争的課題の抽出	プロジェクトの実施に影響を及ぼすVCAの組織変更がない。	プロジェクトへの負の影響はなし。				
		達成(評価スコア 3/3): 専門家による現状の把握 達成(評価スコア 3/3): 専門家からVCAスタッフに対するによる日常的なアドバイスの提供。 達成(評価スコア 3/3): 審査マニュアルは完成(内容も最終版) 達成できず(評価スコア 1/3): 人的資源の不足によりこの活動は2010年第一四半期へ延期。 ほぼ達成(評価スコア 2/3): ミルク市場に関する調査は完了。金融・保健・銀行分野の市場調査に関しては南部でのセミナーの開催(2010年3月)へ変更。 達成(評価スコア 3/3): 研修センターは活動を開始していないが、研修は実施された。 ほぼ達成(評価スコア 2/3): CCIDラウンドテーブル会合はもう1回参加(2010年3月) 達成(評価スコア 3/3): 審査官研修センターの設置にはDGの決定が下りた。 達成(評価スコア 3/3): ワーキング・グループ3は2008年11月に設置され、活動は継続中。 ほぼ達成(評価スコア 2/3): 活動は継続中。 達成(評価スコア 3/3): VCAプロシキヤーは印刷済み、セミナーその他の活動も実施済み。	達成度、達成時期などの確認及び計画との比較	達成度、達成時期	報告書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー	
実施プロセスの検証	1-6 上記1-1から1-5までの活動の結果により、研修センターにおける審査技術の研修の準備と実施 1-7 審査機能強化の観点からワーキンググループの活動を通じてCCID(Center for Competition Information and Data)のキャパシティの強化を図る 1-8 研修センター設立のドラフトの概念の開発 2-1 アドボカシー活動展開のためのワーキンググループの設置 2-2 効果的なアドボカシー活動のためのレビューと検討 2-3 上記2-2の成果によるアドボカシー活動の実施(セミナー、ワークショップ、リーフレット等)	専門家とCPの関係を良くする。	信頼関係は十分に醸成された。				
		専門家とCPとの関係は良好か。 相互に信頼関係が醸成されているか。 相互の満足度は高いか。 相互コミュニケーションは十分に行われているか。	2009年4月から開催されている専門家による月例ブレゼンテーションは知識の移転のみならずVCAスタッフとの日常的かつ緊密なコミュニケーションを可能にした。	関係者の意見	報告書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー	
			プロジェクト内会議の頻度				

評価項目	評価設問		終了時評価結果	判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目					
プロジェクトチームと他のステークホルダーとの関係の相手国実施機関のオーナーシップ	他省庁、経済界、消費者団体、学会、他ドナーとの接点、協力、補充関係について。	小項目	専門家による他のドナーのセミナー・ワークショップへの頻繁な参加がなされた。		関係者の意見	報告書 関連文書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
		VCAは主体的にプロジェクト活動の計画及び実施に関わっているか。	3つのワーキンググループの設置によりVCAによるプロジェクトへのサポートがなされた。	VCAのコミットメント	活動実績 関係者の意見	インタビュー結果	インタビュー
カウンターパートスタッフはプロジェクトの活動状況を十分に把握しているか。			十分に把握した。	CPが主体としている業務内容	関係者の意見		
先方予算は計画通り確保、支出されているか。			MMで合意された通りに支出されている。	プロジェクト予算と支出実績の比較	プロジェクト予算の計画と支出実績	報告書 関連文書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
プロジェクト活動のモニタリング・評価は効果的に実施されているか。			専門家によるJICAへの定期報告によりモニタリングはなされた。評価は2010年1月の終了時評価が実施された。	モニタリングツールの有無 モニタリング実施頻度 モニタリング結果のフィードバック状況	モニタリング・評価の実施方法・実施体制・活動実績	報告書 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
阻害要因及び貢献要因はあるか。	VCAの組織体制、スタッフの経験・能力に起因する問題点		VCAスタッフの能力：新たにさいようされたスタッフの能力は限定的である。事業の件数・事業の件数が少ないためにアドバイスの機会は限定的である。		関係者の意見	報告書 関連文書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメントレビュー インタビュー
	日本側の協力体制に起因する問題点		特になし。				
	その他の阻害、貢献要因はあるか。		特になし。				ドキュメントレビュー インタビュー

B. 評価グリッド

ベトナム国競争法施行、競争政策実施キャパシティ強化プロジェクト終了時評価・評価グリッド

評価項目	評価説明		終了時評価結果	判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目					
妥当性	必要性	プロジェクトの上位目標とプロジェクトの目標はベトナム政府の政策は一致していたか。	ベトナム政府の市場経済化の促進、外国投資促進、国営企業の民営化という政策目標と合致していた。また、国際約束であるWTO協定による市場のルールによる規制にも合致していた。	5か年計画等政府の政策と期待	政策文書 関係者の意見	報告書 関連文書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメント レジュメ インタビュー
	優先度	上位目標と本「キャパシティ強化プロジェクト」の整合性はあったか。	VCAは新規採用スタッフによる増員により組織を拡大しつつあるため、キャパシティ強化は喫緊の課題であった。また、最近の審査対象案件の増大は本プロジェクトの活動がVCAのニーズに直接関連していた。	VCAの満足度 技術協力で学んだ内容の職員 による満足度 関係者の意見	職員の満足度 技術協力で学んだ内容の職員 による満足度 関係者の意見	報告書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメント レジュメ インタビュー
有効性	プロジェクト目標は適切だったか。	プロジェクト目標は達成されたか。	VCAは競争当局として競争法の施行によるベトナムにおける公正な競争市場の形成は優先度の高い政策である。このため、VCAでは二国間および多国間の外国の協力を仰ぎスタッフの能力の向上を図り、競争市場環境の整備に努めている。	VCA幹部・職員の認識度	VCAの政策実施に係る文書 VCA幹部・職員等関係者の意見	報告書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメント レジュメ インタビュー
	プロジェクト目標は適切だったか。	プロジェクト目標は達成されたか。	VCAではスタッフの競争法関連事業を扱う能力強化の重要性を十分に認識し、援助パートナーからの技術協力を求めるための努力をしている。そして協力の結果として競争環境におけるビジネスの発展が実現しようとしている。	VCAの政策実施体制における キャパシティのレベル	日本の援助政策	報告書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメント レジュメ インタビュー
有効性	プロジェクト目標は適切だったか。	プロジェクト目標は達成されたか。	日本の対ベトナム援助重点課題およびJICA国別事業実施計画の内容	照合と確認	日本の援助政策	関連文書	ドキュメント レジュメ
	プロジェクト目標は適切だったか。	プロジェクト目標は達成されたか。	長期専門家派遣による技術移転活動は技術移転の手段として適切だったか。	経済制度整備・運用に該当し、優先度は高い。	プロジェクト活動実績 VCAの実績・評価 関係者の意見	報告書 関連文書 インタビュー結果	ドキュメント レジュメ インタビュー
有効性	日本の協力としての優位性はあったか。	日本の協力としての優位性はあったか。	VCAは協力受入の実施に当たり専門家の活動をサポートする3つのワーキンググループ（WG）を特別に設置した。各WGのリーダーは専門家の活動をサポートし、かつVCA内での調整を図り、円滑な協力の実施を展開した。	カウンタートパートおよび専門家の認識	プロジェクト活動実績 VCAの実績・評価 関係者の意見	報告書 関連文書 インタビュー結果	ドキュメント レジュメ インタビュー
	プロジェクト目標は適切だったか。	プロジェクト目標は達成されたか。	JICAおよび公正取引委員会の後方支援は適切だったか。	カウンタートパートおよび専門家の認識	専門家および関係者の意見	関係文書 インタビュー結果	ドキュメント レジュメ インタビュー
有効性	プロジェクト目標は適切だったか。	プロジェクト目標は達成されたか。	競争的市場は経済と産業の運営の鍵を握る要素であり、この意味で先進国である日本の経験はベトナムにとって大いに活用できるものであった。	日本の独占禁止法事業の経験活用の有無	専門家および関係者の意見	関係文書	ドキュメント レジュメ インタビュー
	プロジェクト目標は適切だったか。	プロジェクト目標は達成されたか。	プロジェクト目標は達成されたか。	プロジェクト目標の達成度	投入・活動の実績 成果の達成度 関係者の意見	プロジェクトの事業 進捗報告書 関連文書 インタビュー結果	ドキュメント レジュメ インタビュー
有効性	プロジェクト目標は適切だったか。	プロジェクト目標は達成されたか。	目標指標はプロジェクトの目標およびVCAの発展傾向と関連性があり適切であった。	現時点での達成度 上位目標との因果関係			

評価項目	評価設問		終了時評価結果	判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目					
因果関係	プロジェクトのアウトプットはプロジェクト目標達成に貢献したか。	VCA職員は技術移転で学んだ内容を実践しているか。	日本の専門家から学んだ経験と知識はVCAの日常的な活動および審査官の技術(とりわけインタビューの実施と審査報告の作成)を活用・実践している。	VCA職員へのインタビュー及び知識向上	関係者の意見	報告書 インタビュー結果	ドキュメント レビュー インタビュー
	プロジェクト目標達成を阻害する要因はあるか。	プロジェクト予算が適切に支出されたか。(外部条件) 他の技術協力や他のプロジェクトの活動から干渉されなかったか。(外部条件) VCA幹部および職員、カウンターパートが異動・離職しなかったか。(外部条件) 競争政策に関する大きな政策変更があったか。(外部条件) その他の外部条件はあるか。	適切に支出された。 他のプロジェクトとは目標と成果が異なっており、重複はなかった。 VCAの幹部および関係スタッフはVCAに残っており、各職務責任を全うしている。 2004年末に始めて導入されたベトナムの競争法による最初の5年間の施行期間を経た。今後は同法の改定を検討する時期になる。(2010年) 外部環境の変化によるいくつつかの前向きの変化があった。ベトナムでは多くの産業セクターにおいて規制緩和と自由化が進められ、より競争的な市場が形成されつつある。	向上	プロジェクトの活動実績 VCA幹部・職員の在職状況 関係者の意見 関連情報 関係者の意見 関連情報 関係者の意見 関連情報 関係者の意見	報告書 インタビュー結果	ドキュメント レビュー インタビュー
効率性	成果は計画通り達成していたか。	成果は計画通り達成していたか。	これまでのところ、ほとんどのプロジェクト活動は計画どおり達成された。	実績と計画(目標値)の比較	計画の達成度、時期 関係者の意見	プロジェクトの事業 進捗報告書 インタビュー結果	ドキュメント レビュー インタビュー
	阻害要因があるとするれば何か。	過去の技術協力活動の結果は専門家の活動計画作成に寄与したか。 VCAのカウンターパートの活動は効果的な技術移転に寄与したか。	2009年の前半に関してはVCAの人材不足があったが、2009年後半には20名の新たなスタッフを採用し、人員数は補充された。もう一つの問題は言葉にあった。JFTCのほとんどの資料/ガイドライン/標準報告書/調査報告は日本語であり、VCAのスタッフにとっては難しいことがあった。	専門家によるカウンターパートの活動への満足度	技術協力成果の活用実績	報告書 インタビュー結果	ドキュメント レビュー インタビュー
因果関係	成果を達成するために十分な活動であったか。	VCAは他にスイスのCOMCOおよび米国のFTCからのキャパシティ強化の協力を受けた。	このプロジェクトは2006-2007年のプロジェクトの成功をベースに計画された。(2005-2006の開発調査)	専門家によるカウンターパートの活動への満足度	計画の達成度、時期 関係者の意見	プロジェクトの事業 進捗報告書 関連文書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメント レビュー インタビュー
	達成されたアウトプットから見て投入の質、量、タイミングは適切だったか。	専門家派遣人数、専門分野、派遣期間、派遣時期は適切か。(該当する場合) 機材の種類、量、設置時期は適切か。 カウンターパート本邦研修の分野、研修内容、研修期間、受入時期は適切だったか。 日本側およびベトナム側の現地活動費は適切か。	VCAは他にスイスのCOMCOおよび米国のFTCからのキャパシティ強化の協力を受けた。 短期専門家は夫々のセミナー・ワークショップに適切な時期に派遣された。 機材の購入はなし。 カウンターパート研修は適切に実施された。詳細は報告書を参照。	専門家派遣実績 関係者の意見 納入機材リスト 関係者の意見 本邦研修への参加者の満足度 CP在籍状況 CP在籍状況 プロジェクト予算の計画と支出実績の比較	技術協力成果の活用実績	報告書 インタビュー結果	ドキュメント レビュー インタビュー

評価項目	評価設問		終了時評価結果	判断基準・方法	必要なデータ	情報源	データ収集方法
	大項目	小項目					
インパクト	上位目標の達成見込み	公正取引委員会によるバックサポート(短期専門家、本邦研修、関連資料・情報の提供、教材等)、そのたネットワークを有効に活用したか。	ベトナムの設立間もない競争当局から学ぶことはそのキャパシティを強化する上で最も重要であり有効であった。VCAIはJFTCの経験と技術を活用することができた。	公正取引委員会の支援の内容・頻度	公正取引委員会による支援実績	報告書 関連文書 インタビュー結果	
	その他効率的な貢献要因	ローカル資源を有効に活用しているか。その他効率的な貢献要因、阻害要因はあったか。	VCAIにおける執務スペースおよびPCなど設備の活用が図られた。 なし。	現地人材(有識者、消費者団体)、既存施設の有無 その他効率的な貢献要因、阻害要因の有無 VCAI職員的能力向上へのインパクトの有無	関係者の意見		
自立発展性	上位目標以外の正負の効果・影響があったか。	投入・成果の実績、活動の状況から、上位目標の達成の可能性は高いか。上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか。上位目標達成に必要なプロジェクト以外の要因が満たされる可能性は高かったか。	上位目標は達成可能である。また、プロジェクトはまだ完了していないが他のプロジェクト指標もほとんどは達成されつつある。 ベトナムの競争法施行は次の3つのフェーズに分けて展開されている。施行準備期間(2005-2007)、施行期間(2008-2009)、見直し改訂期間(2010-2011)。 VCAIの新規職員の採用は上位目標を達成するために必要な活動と言える。 なし。	競争政策実施の進捗状況 競争政策の実施状況 関係者の意見 関係者の意見	報告書 関連文書 インタビュー結果 報告書 関連文書 質問票の回答 インタビュー結果	ドキュメント レビュ インタビュー	
	政策・制度面	上位目標の達成を阻害する要因はあったか。	「競争法実施」は引き続き(商工省)の優先課題として位置づけられ続けるか。 VCAIはプロジェクト終了後の職員能力強化の継続に係る戦略を保持しているか。 商工省およびVCAIのオーナーシップおよびコミットメントがあるか。 産業界の競争法に対する理解と関心は高いか。	競争法実施は引き続き優先課題であり、市場経済の構築の柱である。 審査能力の強化に関してVCAIは審査官研修センターを設立し、キャパシティの強化を図る。 ある。しかし、コミュニケーションをとるインシニアティブは専門家およびVCAI双方からとるべきでもある。 プロジェクト実施前の調査では、産業界の競争法に関する認識は比較的低かった。その後の進展・変化については、調査をおこなっていない。 プロジェクトによって購入した機材はないため該当せず。研修センター予算は国家予算から支弁される。 社会の関心を高めたことでの競争法に対する社会の関心。 その他の阻害する要因はあるか。	競争法に係る政策レベルの計画、戦略 関係者の意見 関係者の意見 関係者の意見 関係者の意見 関係者の意見 関係者の意見	報告書 関連文書 質問票の回答 インタビュー結果 報告書 関連文書 インタビュー結果 報告書 関連文書 関係者の意見	ドキュメント レビュ インタビュー
その他	今後の展開に向けて、留意していかなければならないことは何か。	継続的な技術移転に当たり組織・財政・技術面での自立発展性はあるか。	プロジェクトの延長に関するニーズは高い。一部ではあるが未達成のタスク、継続的なキャパシティ強化へのニーズ、そして競争法改訂のための協力のニーズなどがある。 特になし。 プロジェクトの延長に関するニーズは高い。一部ではあるが未達成のタスク、継続的なキャパシティ強化へのニーズ、そして競争法改訂のための協力のニーズなどがある。	人材育成への予算措置の有無 機材稼働状況 社会の関心度 その他の阻害する要因の有無	関係者の意見 関係者の意見 関係者の意見 関係者の意見	インタビュー結果	

<p>QUESTIONNAIRE</p> <p>JICA Technical Cooperation Project</p> <p>“Capacity Building for Enforcement of Competition Law and Implementation of Competition Policy in Vietnam”</p> <p>January, 2010</p>

NAME:	Mr. Trinh Anh Tuan
POSITION:	Head of International Cooperation Board
ORGANIZATION:	Vietnam Competition Authority
CONTACT DETAILS	Telephone number: 84-4-38262551 E-mail address: tuanta@moit.gov.vn

1. ACHIEVEMENT OF OUTPUT

1.1 The Project is expected to achieve the two outputs below. Kindly provide your view on the progress of these outputs.

Output 1: The function of investigation of VCA is enhanced.	<input type="checkbox"/> Output 1 has been achieved. <input checked="" type="checkbox"/> Output 1 is about to be achieved. <input type="checkbox"/> Output 1 has not been achieved yet. Briefly explain the reasons for your choice. Basically, implementation of activities strictly has followed the scheduled timeline. The others are being carried out with tight cooperation between the resident advisor and beneficiaries (mainly VCA staffs). Through monthly case study meetings (every 2 nd Friday since 2009), training workshop for investigators, study visit to Japan, etc; VCA staffs in particular and investigators in general learned more about skills and experiences of Japan in investigation competition cases, which will be applied in practice.
Output 2: The knowledge regarding Competition Law and policy is promoted and	<input type="checkbox"/> Output 2 has been achieved. <input checked="" type="checkbox"/> Output 2 is about to be achieved. <input type="checkbox"/> Output 2 has not been achieved yet. Briefly explain the reasons for your choice.

disseminated among governments, enterprises, consumers and academics.	As mentioned above, activities are in smooth progress. For example, a conference on M&A was successfully held in Hochiminh City in July 2009 for advocacy of relevant regulations to business community, law firms and press; VCA brochure was edited and is being published with helpful consultation with the resident advisor with a view to advocate VCA image.
---	---

2. ACHIEVEMENTS OF THE PROJECT

Please fill-in the evaluation of the following project achievements.

*Evaluation Score: 3: Achieved; 2: About to be achieved; 1: Not been achieved

Project Achievements	Evaluation Score*	Narrative Comments
1. Capacity Building Activities		
1-1 Analyze the present situation of investigation activities and identify the issues to take up in the activities.	3	
1-2 Upgrade the investigation skill through investigation activities with advice.	3	
1-3 Make necessary guidelines, manuals for investigators.	3	The manual is being published (the content was finalized)
1-4 Improve the skills to define the relevant market.	1	As lack of human resources, this activity is converted into the first quarter of 2010
1-5 Implement the market survey in the targeted market to find out the issues in competition.	2	The market study on milk market is being completed. The market study on finance banking and insurance was agreed to convert into 2 seminars tentatively held in March 2010 in the South
1-6 Based on the above activities 1-1 through 1-5, prepare and implement the training program for the training center for investigators.	3	
1-7 Build the capacity of CCID from the viewpoint of investigation through the established working group and conduct activities in accordance with necessity and availability.	2	There is still another roundtable of CCID tentatively held in March 2010
1-8 Develop the draft concept for the establishment of the Training Center.	3	

2. Advocacy activities		
2-1 Organize working group(s) in charge of advocacy activities.	3	
2-2 Review and discuss methods of effective advocacy.	2	The activity is being carried out
2-3 Conduct advocacy activities based on the activity 2-2 (e.g. seminars, workshops, leaflets, etc.)	2	The VCA Brochure is being published, the workshop was organized already. The other activities are being implemented.

3. IMPLEMENTATION PROCESS

3.1 Regarding overall project management:

3.1.1 Have you encountered any challenges or difficulties in managing the project?

About internal decision making	: √ Appropriate	<input type="checkbox"/> Basically appropriate	<input type="checkbox"/> Need improvement
About communication with JICA experts	: √ Appropriate	<input type="checkbox"/> Basically appropriate	<input type="checkbox"/> Need improvement
About the function of the JICA Vietnam Office	: √ Appropriate	<input type="checkbox"/> Basically appropriate	<input type="checkbox"/> Need improvement
About project monitoring	: √ Appropriate	<input type="checkbox"/> Basically appropriate	<input type="checkbox"/> Need improvement

What were the major strengths and weaknesses whilst managing projects? Kindly provide your ideas in terms of input management, financial aspects, cohesion between stakeholders, dispatch periods and general performance of JICA expert, and the monitoring mechanism.

In general, learning from the experiences of the first phase of the project, the second phase was smoothly implemented based on following strengths:

- tight cooperation and consultation with the resident advisor
- straight forward comments of the resident advisor
- support from JICA experts: whenever there is problem arouse, JICA experts are willing to arrange meeting with VCA project officials
- strict and transparent procedure of reimbursement

3.2 Regarding technical advice and consultation by JICA experts: basically, JICA expert know quite well needs and requirements of direct beneficiaries of the project so they just provided VCA staffs with valuable and practical advice as well as consultation. VCA staffs can apply what gained in daily work in an effective way.

3.2.1 Were advice and comments by JICA experts effective (effectiveness of technology transfer)?

- Effective
- Basically effective
- Need improvement

If you selected “Need improvement”, kindly provide reasons for your choice and make recommendations for improvement.

3.3 Regarding infrastructure, in particular equipment: Was the correct equipment purchased? Was the equipment delivered and installed timely? Is the equipment in working order and being used? (If applicable)

Under the project, there is no item of infrastructure.

3.4 Regarding ownership: Were training opportunities optimally utilized? Did counterparts maximize communication with JICA experts?

After almost every training course, the Director General of VCA often requires the participants to deliver a report on what gained. Feedbacks show that they find knowledge and experiences critical for them when doing their tasks.

4. EVALUATION QUESTIONNAIRE

A: RELEVANCE

Appropriateness of planning, scope, and scale of the project:

A1. Were the Overall Goal and the Project Purpose linked to the Vietnam national policy?

1) Was this capacity building technical cooperation aligned with the Government of Vietnam (GOV)’s needs?	Yes
2) Was this project aligned with VCA's needs?	Yes

A2. Were activities conducted in this project aligned with the Overall Goal?

1) How do you evaluate the recognition by VCA to fair competition?	VCA is a governmental enforcement authority of Competition Law so promotion of fair competition in Vietnam is set as a top priority. Being well aware of that, VCA has been seeking foreign support through
2) How do you evaluate the relevance of capacity building and fair competition realization?	<p>bilateral and multilateral projects to well train its staffs, which will partly contribute to build a fair competition environment.</p> <p>Being well aware of the importance of staff's competence in handling competition issues, VCA has made every effort to maximize technical support from partners to enhance capacity building, which will ensure business operation under a competitive environment.</p> <p>Up to now, implemented activities have reached following results: (see the attached file)</p> <p>In general, the activities were conducted in this project aligned with the overall goal, contributing to the increase of cases handled and improvement of human resources. (that means VCA staffs especially investigators and officials of relevant agencies)</p>

A3. Did the Project adhere to the Japan's aid policy?

Priority areas to be assisted in relation to JICA Country Specific Program and Japan-Vietnam Joint Initiative	Yes
---	-----

A4. Was the Project approach appropriate?

1) Was the dispatch of long-term expert appropriate as a means to transfer skills and knowledge?	Yes. The long-term expert is a very experienced competition investigator with years of working in JFTC so she could well define the strengths and weaknesses of VCA staffs especially investigators. At the same time, based on the needs for assistance of VCA, she just provided us with critical skills and updated knowledge relevant to competition. Furthermore, she is a very enthusiastic so she is always available to give advice, consultation or comment to VCA staffs when requested. Actually, JFTC is a developed competition agency, its experience and assistance for VCA is much appreciated and valuable.
2) Has VCA taken appropriate measures to accept experts and activities?	Yes. In fact, we set up 3 working groups specialized in implementing activities of the projects. The leader of each group played an active role in coordinating activities for smooth operation and they also

	played a good role of liaison contact with the advisor.
3) Was back-up support by JICA and JFTC appropriate?	Yes

A5. Does Japanese assistance have competitive advantages?

1) Do you think experience of Japanese anti-monopoly law and JFTC were relevant and contributed to the Project?	Yes. JFTC enforced competition law around a century ago while VCA is too young and inexperienced so Japanese experience in enforcing anti-monopoly law is a great contribution to the Project.
2) Do you think Japanese economy and industry experience was relevant and contributed to the Project?	Yes. A fair competition environment plays a key role to the operation of economy and industry. Therefore, experience of such a developed country as Japan will be of great use to Vietnam in general and the Project in particular.

B: EFFECTIVENESS

Regarding the effectiveness of the project:

B1. Was the Project Purpose appropriate?

1) Was the project purpose achieved?	Yes, the purpose of the Project “Fair competition is promoted in the Vietnam market” was partly achieved as the Project is not finished yet.
2) Was appropriate index to assess the Project being set?	Yes, the index was set in relevant to the Project purpose and expressed the trend of development of VCA.

B2. Did project outputs contribute to the Project Purpose?

Did VCA staff utilize what they have learnt in the trainings?	Yes. The knowledge and experiences learnt from Japanese experts help VCA investigators in their daily works as well as in investigations (especially skills on interview and making investigation report).
---	--

B3. Were there any obstacles to prevent project effects from being occurred?

1) Was there appropriate level of expenditure for the Project?	Yes. However, the administrative budget of the Project was set relatively high compared to total budget.
--	--

2) Were there any interventions from other projects?	No. There is no overlap between this Project and other Projects as they aim at different goals and outputs.
3) Were VCA core and relevant staff remained at the same post?	Yes. All VCA core and relevant staff is still with VCA after the Project and they commit with their responsibilities.
4) Were there major changes in competition policy?	No. Vietnam Competition Law was first introduced in late 2004 and it needs at least 5 years for enforcement before changes made. Therefore we have a plan to revise competition laws next year (i.e. 2010).
5) Were there any other external factors?	Yes. There were lots of positive change from external factors. Currently many industries in Vietnam have been deregulated and liberalized leading to freer and more competitive markets.

C: EFFICIENCY

C1. Was the Project carried out as scheduled?

1) Was the Project carried out as scheduled?	Yes. So far most of the activities of the Project were implemented in line with the schedule.
2) Did you have any difficulties in carrying on the Project?	Yes. During first half of 2009 we face difficulties in limited human resources. Nevertheless, by late 2009 we have recruited about 20 staff so the human resource has been much enhanced. Another challenge is language. Most of materials/guidelines/model report/surveys in JFTC are expressed in Japanese only and that it is difficult for VCA staff to read it.

C2. Did the Project provide adequate activities to achieve outputs?

1) Have the past technical cooperation activities contribute to make activities plan?	Yes. This Project was designed on the successes of result of the Project 2006.
2) Did VCA counterparts contribute to the capacity building activities?	Yes. We have some cooperation with COMCO (Swiss) and US FTC (US) that help us in capacity building activities.

C3. Appropriateness of quality and timing of Japanese input.

1) Were numbers, terms, timing and specialties of short-term experts appropriate?	N/A. We have a long term expert and do not use short term expert in this Project.
---	---

2) Were type, numbers and installment date of equipments appropriate? (if there is a provision of equipments)	N/A. There are no equipments bought during the Project.
3) Were the contents, timing and duration of trainings in Japan were appropriate?	Yes. See report from trainings in Japan for reference.
4) Were appropriate local costs in Vietnam and in Japan reserved for the Project?	No. The cost norm applied in the Project is not sufficient to implement some activities, especially cost to organize events.
5) Do you think JFTC supports for short-term experts, trainings in Japan, relevant materials and information, and its accumulated experience are utilized fully in Vietnam?	Yes. For a new competition authority as Vietnam, learning experiences from similar authorities like JFTC is the most important and effective way to develop its capacity. We have made use of experiences and techniques from experts in JFTC.

C5. Utilization of local resources.

Were existing facilities used effectively?	Please explain more the question.
--	-----------------------------------

C6. Were there any factors to contribute or prevent efficiency?

No.

D: IMPACT

D1. Do you think the Overall Goal will be achieved when considering the performance of the Project so far?

Yes. The Overall Goal will surely be achieved. Most of indicators in the Project have been achieved though the Project is not finished yet.

D2. Fulfillment of important assumption.

1) Has Vietnamese competition policy been implemented as scheduled?	Yes. The implementation of Vietnam Competition Law is scheduled to be divided into 3 phases: preparation for enforcement (2005-2007); enforcement period (2008-2009) and review and revision (2010-2011).
---	---

	We follow well with this schedule.
2) Were there other important activities contributed to achieve the Overall Goal?	Yes. The recruitment of new staff for VCA can be regarded as other activities contributed to achieve the Overall Goal.

D3. Were there any factors to contribute or prevent the achievement of the Overall Goal?

No.

D4. Any side effects (positive and negative) of contributed factors mentioned in D3 above?

No.

E: SUSTAINABILITY

E1. Government policies to promote the Project will not change after the completion of the Project.

1) Is the competition policy remained as priority subject at GOV (MOC)?	Yes. The Government has always determined its priority to build up a market economy whereas competition policy is a pillar.
2) Does VCA have strategies to implement capacity building of its staff after the completion of the Project?	Yes. We have established the Training Center for investigators and this Center is targeted to strengthen capacity for investigators.

E2. Sustainability of VCA management system.

1) Have VCA and Ministry of Commerce (MOC) exercised ownership to the Project?	Please explain more the question.
2) Is Vietnam enterprises' recognition on competition law and policy high?	N/A. According to a survey implemented before the Project, the recognition of enterprise on competition law is at relatively low level. We have not made any other survey therefore we are not sure about the change/development in this issue.

E3. Could training centers keep same functions after the Project?

Are there any strategies to secure budget to carry on trainings and to maintain facilities and equipments?	Yes. The budget for Training Center is allocated from the State Budget. But there are no facilities and equipments purchased under this Project so there is no maintenance of these assets after the Project.
--	---

E4. Social awareness on competition law and competition policy

Did the raise of social awareness have any effect on the implementation on competition policy?	Yes. Social awareness contributed partly to more claims sent to VCA.
--	--

Any other opinions or comments.

No.

Thank you very much for your kind cooperation.

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Results			
Overall Goal					
Fair competition is promoted in the Vietnam market.	Number of sanction		Initiative	Investigation	Decision
		Unfair competition	8	8	8
		Restriction competition	7	3	1
	The level of awareness in the society	Increased			
Project Purpose					
The operational framework of VCAD is established for effective enforcement of Competition Law and policy	1.Number of sanction	the same as the table above			
	2.Number of competition policy recommendations with publication	8 (such as recommendations to steel industry, banking, insurance,...)			
	3.Trend of position, structure, budget and number of staff related to Competition Policy of VCAD	<ul style="list-style-type: none"> - Number of VCA staffs increased from around 60 to 85 - A branch office was set up in Danang City - A Center for Investigator Training was set up 			
Outputs					
<p>1 The function of investigation of VCAD is enhanced.</p> <p>2 The knowledge regarding Competition Law and policy is promoted and disseminated among governments, enterprises, consumers and academics.</p>	1-1 Number of analysis and recommendation for investigation activity of VCAD	4 analysis and recommendation (2 for investigation activity status, Awareness level of the Competition law in VN, Guidelines) [Several Analysis and recommendation are added till the end of Project]			
	1-2 More than ten cases are studied and analyzed.	22 cases: 12 cases during Monthly presentation (8 sessions done), 1 case in VN (Insurance) 9 cases during WS in VN [Several cases are added till the end of Project]			
	1-3 Number of staff who experienced actual cases	30			
	1-4 More than ten training courses both in Vietnam and Japan are conducted.	23 Training courses: 2 WS in VN outside of VCA (Hanoi in March 2009, Haiphong in Sep 2009) 3 Trainings in JP (Mar 2009, Sep 2009, Dec 2009) 9 Trainings in VN on Investigation skills 8 Trainings in VN on Monthly presentation 1 WS in VN held by the other donors (Maison du Droit) [Sessions to be added till the end of Project] 1 Training in JP (Apr 2010) Several trainings in VN on Monthly presentation Several trainings on Market Study (?)			
	1-5 Number of reference material for investigation including guidelines and manuals	1 material: Investigation manual			
	1-6 Number and variety of actual investigation activities	see the table above			
	1-7 More than two market surveys are conducted.	2 market surveys: Powder milk (on going and to be finished) Finance (conducted but postponed) Ongoing and to be completed			
	1-8 Training modules and curriculums for the training center are prepared.				
	1-9 The result of questionnaires				
	2-1 More than ten seminars for advocacy are conducted (unrestricted to seminars held by VCAD-JICA)	10 Seminars: 2 Seminars on M&A on Oct 2008 (Hanoi and HCMC) 2 Seminars on Procedure on Nov 2008 (Hanoi and HCMC) 1 Seminar on Association on Mar 2009 2 Monthly Forum CCID (Hanoi and Da Nang) 1 International conference ACF on May 2009 1 Seminar on M&A on Jul 2009 1 Conference Nagoya on Dec 2009 [Seminars to be added till the end of Project] 1 Monthly Forum CCID on Mar 2010 (HCMC) 2 Seminars in Southern areas on Mar 2010 (to be determined)			
	2-2 More than three leaflets for advocacy are published.	2 leaflets: Overview and Brochure VCA [Leaflet to be added till the end of Project] Guidance by CCID			
	2-3 Number of lodgment of complaints and detection	see the table above			

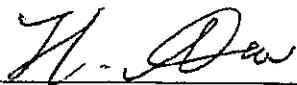
MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE TERMINAL EVALUATION TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT
OF THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIETNAM
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR
CAPACITY BUILDING FOR ENFORCEMENT OF COMPETITION LAW
AND IMPLEMENTATION OF COMPETITION POLICY
IN VIETNAM

The Japanese Terminal Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and the authorities concerned of the Government of the Socialist Republic of Vietnam (hereinafter referred to as "the Government of Vietnam") had a series of discussions on the Japanese technical cooperation project for "Capacity Building for Enforcement of Competition Law and Implementation of Competition Policy in Vietnam" (hereinafter referred to as "the Project") for the terminal evaluation of the Project which is scheduled to end on June 30, 2010.

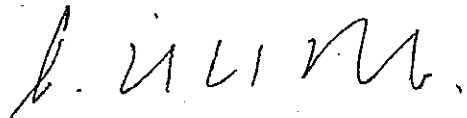
The Team and the authorities concerned of the Government of Vietnam exchanged views and jointly evaluated the achievements of the Project.

As the result of the discussions, the both parties agreed to the matters referred to in the document attached hereto.

Hanoi, January 29th, 2010



Mr. Hiroyuki Abe
Leader
Terminal Evaluation Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mr. Bach Van Mung
Director General
Vietnam Competition Authority
Ministry of Industry and Trade
The Socialist Republic of Vietnam

THE ATTACHED DOCUMENT

1. Introduction

- Objective of the Evaluation Study

JICA's evaluation is a tool for judging as objectively as possible the relevance, effectiveness, efficiency, impact and sustainability of JICA's cooperation activities.

There are three objectives of the evaluation:

- (1) To use evaluation feedback as a means for project operation and management;
- (2) To enhance the "learning effects" of the personnel and organizations concerned for more effective project implementation; and
- (3) To disclose information widely to secure JICA's accountability.

These are intended to ensure accountability to the taxpayers of Japan as well as implement projects more effectively and efficiently.

A terminal evaluation is performed a few months prior to the completion of a project. Based upon the results of the evaluation, JICA determines whether it is appropriate to complete the project or necessary to extend follow-up cooperation.

- Members of the Evaluation Team and the Evaluators

Annex 1

- Outline of the Project

Annex 2

2. Methodology of Evaluation

-Evaluation Questions and Indicators

The Project is conducted according to the agreed logframe (Project Design Matrix) which is a useful tool for understanding not only what the project objectives, activities, and inputs are, but also how the target values and means of measurement are selected, and what project risks are. The Team prepared sets of questionnaires based on the logframe and the indicators given therein, and sent them to the authority concerned of the Government of Vietnam in advance for their early input.

-Data Collection Method and Analysis

In the evaluation process, data collection was conducted as follows: after the arrival of the Team, they conducted interviews with the authority concerned of the Government of Vietnam as well as collected answers and data to the questionnaires.

Analysis is made from two aspects: quantitative analysis and qualitative analysis. The former is applicable in cases when the degree of achievement or causal relationships using quantitative data is based on statistics grounds, e.g. the indicators set under "Outputs". On the other hand, the latter is applicable when the meaning of data, new facts, or relationships between findings may be deductively constructed, e.g. a few indicators set under "Project Purpose". In this study, both methods were combined and used complementarily.

3. Project Performance

The Project started from September 2008, with the deployment of one JICA expert on competition law and competition policy who provided the Vietnam Competition Authority (hereinafter referred to as "VCA") and other relevant organizations with necessary information and advice on daily-basis for the implementation of the Project. VCA assigned its staff as technical and administrative counterparts of the Project as well as provided an office in their building for the expert.

The major activities of the Project are summarized in the following three areas.

- Improvement of investigations skills
- Training activities
- Advocacy

Seminars and workshops by the Japanese short-term experts and trainings in Japan were also conducted with in accordance with the followings:

Activities by the Japanese Short-term Experts and Trainings in Japan

Period	Activities	Name
Seminars and Workshops		
3/3/09 – 3/7/09	The seminar was held with 2 experts and the workshop was held with 3 experts, both in Hanoi. 1 expert made a presentation in the seminar, while in the workshop, each expert delivered lectures on <i>Market Research, Cartel in Association and Investigation and Staff Training</i> .	Mr. Yamamoto Mr. Takahashi Mr. Kamakura (Japan Fair Trade Commission; JFTC)
7/19/09 – 7/21/09	VCA and other related ministries organized an international seminar on M & A in Ho Chi Minh City, where 1 expert from JFTC participated as a presenter and panelist. (Delivered a presentation on " <i>International legal aspects of M & A</i> ". Participated as a panelist for " <i>International Experience on Governmental Encouragement and Management on M&A</i> ".)	Ms. Hamada (JFTC)
9/15/09 – 9/19/09	VCA organized a workshop on <i>Regulation of Unfair Competition Acts</i> in Hai Phong where 1 expert from JFTC participated as a presenter. (Delivered a presentation on " <i>Misleading Representations</i> " and other related issues.)	Ms. Fukamachi (JFTC)
Trainings in Japan		
3/15/09 – 3/31/09	5 officers participated the trainings in Tokyo and Osaka. The topics of lectures were: -Overview and History of Competition Law in Japan -Allegation and Evidence, Hearing Procedures, Leniency, M&A -Role of Regional Office (visit to Osaka office) -Case Studies, etc.	Mr. Nguyen Duc Minh Mr. Phung Van Thanh Mr. Phan Cong Thanh Mr. Cao Xuan Quang Mr. Bui Trung Thuong
9/27/09 – 10/10/09	5 officers participated the trainings in Tokyo. The topic of lectures is " <i>How To Be An Effective Competition Agency</i> "	Mr. Vo Van Thuy Mr. Le Phu Cuong

	and the participants were lectured the following topics as well as visited such stakeholders as Keidanren, Shodanren and a law firm; -Development of Competition Policy in Japan -Competition Policy and SME -Exemption and Regulatory Reform, etc.	Mr. Doan Tu Tich Phuoc Ms. Phan Van Hang Ms. Tran Phuong Nhung
12/10/09	The Director General and the Director participated in the symposium "The Role of Competition Law and Policy in Developing Countries" held by Center for Asian Legal Exchange (CALE) of Nagoya University. The DG made a keynote speech on "Vietnam Competition Law Enforcement-Challenges and Difficulties".	Mr. Bach Van Mung Mr. Trinh Anh Tuan
12/16/09		

4. Evaluation Results

-Relevance

A criterion for considering the validity and necessity of a project regarding whether the expected effects of a project meet with the needs of target beneficiaries; whether a project intervention is appropriate as a solution for problems concerned; whether the contents of a project is consistent with policies, etc.

It has been only 5 years since the promulgation of the Competition Law and for that reason, VCA with its limited capacity, has handled small number of investigation cases. The Government of Vietnam regards competition policy as one of the important pillars in building up an open market economy while deregulation and liberalization of many industries in Vietnam accelerates this effort. It is envisaged that such trend will pose an increase in the number of cases to be investigated, calling for a further development of capacity of VCA. In order to adapt to the increasing needs, VCA is recruiting more staff each year and has been making efforts to train its staff.

The Project therefore still has and would maintain relevance with the needs of the Government of Vietnam as well as matches Japan's ODA Policy for Vietnam (2009) to support the promotion of economic growth and strengthening of international competitiveness through business environment improvement and private sector development.

-Effectiveness

A criterion for considering whether the implementation of project has benefited (or will benefit) the intended beneficiaries or the target society.

Activities conducted by the Project have benefited VCA in moving the way forward to tackle issues in their daily operations. Such activities include the following:

- 1) upgrade of the investigation skills through investigation activities with advice from the

- long-term expert, which directly contributes to the capacity development of VCA staff on investigation and promotes the motivation of VCA as an organization itself;
- 2) technical advice, seminars and workshops provided by the long-term expert on daily basis and by the short-term experts mainly from JFTC in the area of *Market Research, Cartel in Association and Investigation, Staff Training, M&A, Regulation of Unfair Competition Acts*, which helped the participants to realize the issues in Vietnam and to acquire knowledge necessary for the resolution of those issues;
 - 3) trainings in Japan, in which the participants understood the concepts of Competition Law and competition policy in Japan, and were inspired and motivated to apply good concepts in their work; and
 - 4) advocacy activities such as making leaflets helped raise awareness of Competition Law and competition policy in Vietnam society.

It is evaluated that all these activities contributed to the achievement of the Project Purpose and establishment of the operational framework for effective enforcement of Competition Law and competition policy.

-Efficiency

A criterion for considering how economic resource/inputs are converted to results. The main focus is on the relationship between project cost and effects.

The following three points especially contributed to the efficient implementation of the Project:

- 1) Revision of the PDM in July 2009 that clarified the division of inputs from VCA and the Japanese side;
- 2) Provision and location of the Project office for the long-term expert which was placed close to the counterpart personnel; and
- 3) Establishment of the three working groups by the Decision of the Director General of VCA for the joint activity with the long-term expert in the respective areas; investigation, capacity building and advocacy.

-Impact

A criterion for considering the effects of the project with an eye on the longer term effects including direct or indirect, positive or negative, intended or unintended.

Although it is not easy at this stage to measure impacts derived from the Project since the Project cooperation term is relatively short, there are notable impacts.

- 1) The number of consultations from businesses and academics rose, which means that people have started to become aware of the tasks of VCA and competition policy. It is expected that VCA, gaining such attention, would further make efforts to build its capacity both in terms of human resources and institution.
- 2) VCA became to realize the importance of making public the investigation cases (such as the case of aviation fuel investigation and not merely advocacy activities

such as printing and distributing leaflets) that it would advocate an emphasis on the definition and significance of the Competition Law and competition policy among businesses and general public.

- 3) By repeating the process of "*learning by doing*" the actual cases, VCA began to map out concrete ideas for the betterment of enforcement structure of competition policy including the revision of the Competition Law.

Moreover, rollout of the Project in local areas (other than Hanoi, Ho Chi Minh City and Da Nang) contributed to raising public awareness of the importance of the Competition Law and competition policy.

-Sustainability

A criterion for considering whether produced effects continue after the termination of the assistance.

This criterion is also difficult to evaluate since the duration of the Project is short. Though most of the activities are being implemented, a few are still on-going, namely; conducting market surveys (research), and establishing training modules for training VCA staff. However, this is merely the first step to build up capacity for VCA since applying the training modules and establishing a suitable and sustainable mechanism for the staff training in the long view including the management of the Center for Training of Investigators needs much more effort from VCA as well as support from Japan. In addition, the plan of revision of the Competition Law calls for a continuous assistance from Japan in connection with the results achieved in the Project. While the Project covers VCA's tasks of immediate priority, VCA with advice from the long-term expert, needs to make further efforts in order to effectively and efficiently manage and enforce the Competition Law and competition policy.

5. Conclusion

Although there are some activities that need further development, most of the Project activities had been successfully conducted by the ownership of VCA fostered during the Project and by dedicated support of the long-term expert, JICA and JFTC. And by judging from the evaluation results (Annex 3), the Project Purpose was mostly achieved. It is noted that the enforcement of the Competition Law and implementation of competition policy is of big concern in the Government of Vietnam and therefore, the momentum of the Project activities had been kept and will continue to be kept with initiative of VCA. The Outputs of the Project benefited VCA staff in building their capacity to some extent while advocacy activities benefited businesses and general public to gradually become aware of the importance of the Competition Law and competition policy, though much more needs to be done. One of the most valuable findings for VCA is that its staff became to acknowledge the differences between mere investigation and mere advocacy; that advocacy by investigation is an effective means for the enforcement of the Competition Law and implementation of competition policy; and that such perception would help review

and scrutinize the operational framework of the institution and the Competition Law itself.

6. Recommendations and Lessons Learned

6-1 Lessons Learned

- (1) VCA is still on the way to set up their organization by recruiting new staff constantly in a quite large number. Therefore, the number of target staff to be trained is diverse and is always increasing. These new recruits should be trained at the same time in addition to the existent staff who are still so young and need further training. But it should be noted that the requirements between the two groups are obviously different; therefore the contents as well as methods of training should be well considered. It is of course better that the existent staff train the new recruits; however, it is actually difficult since VCA, at the same time with its limited capacity in terms of human resources, is facing difficult challenges. The implementation of the training program for the Center for Training of Investigators that was planned in the PDM, therefore, was found difficult to complete by the end of this Project term. As previously mentioned, VCA needs to build up a suitable and sustainable training system from the long-term viewpoint, utilizing the Training Center for Investigators.
- (2) The number of investigating cases on the Competition Restriction Acts remained limited during the Project cooperation term, resulting in small number of investigating the actual cases with advice which is one of the most effective ways of building capacity of investigators. However, the number of cases to be investigated depends on various conditions including the social recognition of the importance of competition as well as the roles of VCA. Therefore, at present, VCA should investigate each case in a proper way by selecting proper cases; and by doing so, gradually, VCA can expect to be able to obtain proper advice in case investigation.
- (3) Some activities, such as market research, took much more time to conduct than VCA expected. However, looking ahead toward the future, in acquiring substantial experience, it is advisable to achieve an output with high quality rather than place priority on how much time it took, without taking into account the quality.
- (4) It has become obvious that there are some points in the current Competition Law which could turn out to be obstacles when the Law is enforced more actively. The fact that this has been recognized by VCA is also a good result of the Project even though this was one of the reasons why the Project Purpose has not been fully achieved. The Project needs to support to overcome such difficulties.

6-2 Recommendations

- (1) In order to achieve the Project Purpose and have the effects achieved so far take root in VCA, the Team therefore recommends, in accordance with the request from VCA, that JICA and the Government of Vietnam extend the Project cooperation term for 2 years after the current term that ends in June 2010, in order to adjust to the variant circumstances of competition policy.

- (2) During the extension term, the Project should maintain the current activities and inputs. Among the current activities, the Project should especially try to establish a mechanism for human resource development so that the sustainability of the Project would be maintained. As for inputs, it is especially preferable to deploy the long-term expert in order to provide on daily basis, necessary advice on the improvement of investigation skills of VCA staffs and on the revision of the Competition Law.
- (3) VCA expressed their needs for a dispatch of short-term expert(s) on economic analysis. The Japanese side took note of their request which shall be considered further during the course of the extended cooperation term.

Annex 1	Members of the Evaluation Team and the Evaluators
Annex 2	Outline of the Project
Annex 3 – 1	Achievement of Output
Annex 3 – 2	Evaluation Results
Annex 4	Project Design Matrix (PDM)
Annex 5	Plan of Operations (PO)

Annex 1 Members of the Evaluation Team and the Evaluators

Japanese Terminal Evaluation Team

Name	Position
Mr.Hiroyuki Abe	Director, Fiscal and Financial Sector Management Division, Public Policy Department, JICA
Mr.Noriharu Masugi	Assistant Director, Fiscal and Financial Sector Management Division, Public Policy Department, JICA
Mr.Toshiyuki Igarashi	Assistant Director, International Affairs Division, Japan Fair Trade Commission
Mr.Hidekazu Tanaka	JICA consultant

Vietnam Competition Authority

Name	Position
Mr.Bach Van Mung	Director General
Mr Trinh Anh Tuan	Head of International Cooperation Board
Ms Pham Chau Giang	Deputy Head of International Cooperation Board
Mr. Cao Xuan Hien	Deputy Head of Antitrust Investigation Board
Mr. Nguyen Duc Minh	Deputy Head of Antitrust Investigation Board
Mr. Cao Xuan Quang	Official, Unfair Competition Investigation Board
Mr. Le Thanh Son	Official, International Cooperation Board

Annex 2 Outline of the Project

-Background of the Project

The Competition Law (hereinafter referred to as the "Law") came in to effect on 1st July 2005 and the outline of Vietnam Competition Administration Department (hereinafter referred to as "VCAD") in the implementing the Law was designed by the Decree 06/2006. The young VCAD is in operation for only 3 years but has been making efforts to address and enforce the Law across the country. But the limitation of VCAD's capacity in terms of number of staffs, technical know-how and budget have prevented VCAD from implementing the Law in a more strategic and effective way.

The Vietnamese economy continues to grow. The Vietnamese government and the corporate sector in part have come to realize that the domestic market should be open and transparent to the participants and newcomers. Against this backdrop, it is clearly acknowledged that the Law needs to be implemented properly and sufficiently. VCAD is therefore expected to perform its functions and duties fully in accordance with the relevant laws and decrees. VCAD is aware of the situation and the challenges that they face, and understands the necessity, the purpose and the overall goal of the Project.

-Summary of the Project

<Overall Goal>

Fair competition is promoted in the Vietnam market.

<Project Purpose>

The operational framework of VCAD is established for effective enforcement of Competition Law and policy.

<Outputs>

1. The function of investigation of VCAD is enhanced.
2. The knowledge regarding Competition Law is promoted and disseminated among governments, enterprises, consumers and academics.

<Activities>

- 1-1: Analyze the present situation of investigation activities and identify the issues to take up in the activities.
- 1-2: Upgrade the investigation skill through investigation activities with advice.
- 1-3: Make necessary guidelines, manuals for investigators.
- 1-4: Improve the skills to define the relevant market.
- 1-5: Implement the market survey in the targeted market to find out the issues in competition.
- 1-6: Based on the above activities 1-1 through 1-5, prepare and implement the training program for the training center for investigators.
- 1-7: Build the capacity of CCID from the viewpoint of investigation through the established working group and conduct activities in accordance with necessity and

availability.

1-8: Develop the draft concept for the establishment of the Training Center.

2-1: Organize working group(s) in charge of advocacy activities.

2-2: Review and discuss methods of effective advocacy.

2-3: Conduct advocacy activities based on the activity 2-2 (e.g. seminars, workshops, leaflets, etc).

Annex 3 – 1 Achievement of Output

CAPACITY BUILDING FOR ENFORCEMENT OF COMPETITION LAW AND IMPLEMENTATION OF COMPETITION POLICY IN VIETNAM: ACHIEVEMENT OF OUTPUT

Items of Investigation	Evaluation Subject		Achievement of Output	Assessment: Criteria	Necessary Data	Data Source	Means of Data Collection
	Core Subjects	Sub-Subjects					
Project achievements	<p>Fair competition is promoted in Vietnam market</p> <p>The level of awareness in the society</p>	<p>Number of sanctions (number of cases, enterprises, total amount of fines)</p> <p>The level of awareness in the society</p>	<p>The Number of Decision in 2008: 13 cases (all unfair competition). The Number of Decision in 2009: 13 cases (12 cases for unfair competition, 1 case (first case) for competition restriction).</p> <p>The level of awareness is increased, through a case of lateral supply as abuse of monopoly position being decided by VCC in April 2009, as the first case decision under restriction-competition acts.</p>	<p>Number of cases investigated or prosecuted</p> <p>Information through mass media, frequency and contents</p>	<p>Disclosed and undisclosed information</p> <p>Information by mass media</p>	<p>Interviews to relevant staff</p>	<p>Document Review</p> <p>Interviews</p>
Project Purpose	<p>The operational framework of VCA is established for effective enforcement of Competition Law and policy</p>	<p>1. Number of sanctions (number of cases, enterprises, total fines)</p> <p>2. Number of competition policy recommendations with publication</p> <p>3. The trend of position, structure, budget and number of staff related to Competition Policy of VCA</p>	<p>The Number of Decision in 2008: 13 cases (all unfair competition). The Number of Decision in 2009: 13 cases (12 cases for unfair competition, 1 case (first case) for competition restriction).</p> <p>3 recommendations for steel industry, banking, telecommunications, pharmacy, maritime, electricity, aviation, coal.</p> <p>VCAAD (Department) became VCA (Authority) as of July 2009. The number of VCA staff: 60 in 2008 increased to 85 in 2009. The budget: VND 9 billion in 2008, increased to VND.16.5 billion in 2009. Branch Office in Da Nang City opened in November 2009.</p>	<p>Number and contents</p> <p>Relevant information about VCA organization</p>	<p>Information by relevant staff</p> <p>Information by relevant staff</p> <p>Information by relevant staff</p>	<p>Questionnaire replies</p> <p>Interview results</p>	<p>Document Review</p> <p>Questionnaires</p> <p>Interviews</p>
Achievement of Output	<p>Output 1 The function of investigation of VCA is enhanced.</p>	<p>Overall Evaluation</p> <p>1-1 Number of analysis and recommendation for investigation activity of VCA</p> <p>1-2 More than ten (10) cases are studied and analyzed</p> <p>1-3 Number of staff who experienced actual cases</p> <p>1-4 More than ten (10) training courses both in Vietnam and Japan are conducted. (Training in Japan, workshops and internal training etc.)</p> <p>1-5 Number of reference material for investigation including guidelines and manuals</p> <p>1-6 Number and variety of actual investigation activities</p> <p>1-7 More than two (2) market surveys are conducted</p> <p>1-8 Training modules and curriculums for the training center are prepared.</p> <p>1-9 The result of questionnaires</p>	<p>Output 1 is about to be achieved (Evaluation score 2/3)</p> <p>Basically, implementation of activities followed strictly on the scheduled timeline. The others are being carried out with close cooperation between the resident advisor and beneficiaries (mainly VCA staffs). Through monthly case study meetings (every 2nd Friday since 2009), training workshops for investigators, study visits to Japan, etc, VCA staffs, in particular investigators, have learned more about skills and experiences of Japan in investigation of anti-competition cases, which will be applied in practice.</p> <p>4 analyses and recommendations (2 for investigation activity status, Awareness level of the Competition law in VN, Guidelines)</p> <p>22 cases: 12 cases during Monthly presentation (8 sessions done), 1 case in VN (insurance), 9 cases during WS in VN</p> <p>30 staff (out of 85 VCA staffs)</p> <p>22 Training courses: 2 WS in VN outside of VCA (Hanoi in March 2009, Hai Phong in Sep 2009) 3 Trainings in JP (Mar 2009, Sep 2009, April 2010 (plan)) 9 Trainings in VN on investigation skills 8 Trainings in VN on Monthly presentation</p> <p>1 material completed: Investigation manual (material planned: G&A for VCA staff)</p> <p>Investigation activities in 2008: 16 cases (10 cases for unfair competition, 3 cases for competition restriction cases) Investigation activities in 2009: 17 cases (14 cases for unfair competition, 3 cases for competition restriction cases)</p> <p>1 market survey conducted: powder milk industry 1 market survey cancelled: finance sector</p> <p>On-going and to be completed</p> <p>Collected and reflected for the evaluation.</p>	<p>Number of analysis cases and contents</p> <p>Number of cases and contents</p> <p>Number of staff and their mandates</p> <p>Number of training courses, participants and contents</p> <p>Kinds of materials and contents</p> <p>Number of areas and contents</p> <p>Number and contents</p> <p>Training contents</p> <p>The results of questionnaires from participants</p>	<p>Information by relevant staff</p> <p>Information by relevant staff</p> <p>Information by relevant staff</p> <p>Information by relevant staff</p> <p>Information by relevant staff</p> <p>Information by relevant staff</p> <p>Information by relevant staff</p> <p>Information by relevant staff</p> <p>Information by relevant staff</p> <p>Information by relevant staff</p> <p>Information by relevant staff</p>	<p>Interviews to relevant staff</p>	<p>Document Review</p> <p>Interviews</p>

760

Annex 3 - 1 Achievement of Output

Items of Investigation	Evaluation Subject		Achievement of Output	Assessment Criteria	Necessary Data	Data Source	Means of Data Collection	
	Carra Subjects	Sub-Subjects						
<p>External Conditions</p> <p>Verification of the Process</p>	<p>Output 2</p> <p>The knowledge regarding Competition Law and policy is promoted and disseminated among governments, enterprises, consumers and academics.</p>	<p>Overall Evaluation</p> <p>2-1 More than ten (10) seminars for advocacy are conducted. (unrestricted to seminars held by VCA-JICA)</p>	<p>Output 2 is about to be achieved (Evaluation score 2/3)</p> <p>The activities are in smooth progress. For example, a conference on M&A was successfully held in Ho Chi Minh City in July 2009 for advocacy of relevant regulations to business community, law firms and press; VCA brochure was edited and is being published with helpful consultation with the resident advisor with a view to advocate VCA.</p>	<p>Number of events and participants</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Interview results</p>	<p>Document Review Interviews</p>	
	<p>2-2 More than three (3) leaflets for advocacy are published</p>	<p>10 Seminars conducted: 2 Seminars on M&A on Oct 2008 (Hanoi and HCMC) 2 Seminars on Procedures on Nov 2008 (Hanoi and HCMC) 1 Seminar on Association on Mar 2009 2 Monthly Forum CCID (Hanoi and Da Nang) 1 International conference ACF (Asian Competition Forum) in May 2009 1 Seminar on M&A on Jul 2009 1 Conference Nagoya on Dec 2009 3 Seminars to be conducted 1 Monthly Forum CCID on Mar 2010 (HCMC) 2 Seminars in Southern areas on Mar 2010 (to be determined)</p>	<p>Number and kinds of leaflets published</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>
	<p>2-3 Number of lodgment of complaints and detection</p>	<p>2 leaflets published: - Overview of Competition Law - VCA Brochure 2 leaflet to be published - Guidance by CCID - Q&A on Competition Law</p>	<p>Number of initiative cases in 2008: 20 cases (15 cases in unfair competition, 5 cases in competition restriction cases) Number of initiative cases in 2009: 25 cases (19 cases in unfair competition, 7 cases in competition restriction cases)</p>	<p>Number and contents</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>
	<p>2-4 Number of consultation from enterprises, etc.</p>	<p>There are number of cases, most of the consultation cases are enterprises and law firms.</p>	<p>Number of initiative cases in 2008: 20 cases (15 cases in unfair competition, 5 cases in competition restriction cases) Number of initiative cases in 2009: 25 cases (19 cases in unfair competition, 7 cases in competition restriction cases)</p>	<p>Number, business sectors and contents</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>
	<p>Inputs</p> <p><JAPAN Side inputs></p> <ul style="list-style-type: none"> • Experts: <ul style="list-style-type: none"> -Long-term: Capacity building for the enforcement of the Competition Law -Short-term: when necessity arises • Equipments: as required • Training in Japan: about 2 times • Project expenses: necessary costs to implement the project. <p><Vietnam Side inputs></p> <ul style="list-style-type: none"> • Counter Part personnels • Project Director • Project Manager • Technical Counterpart • Office space for Japanese expert • Travel fee for VCA staff and other necessary expenses 	<p>Have input and its quality been made as planned?</p> <ul style="list-style-type: none"> • Input implemented (as of January 2010) • Long-term expert: 1 expert from JFTC (2008.9-2010.6) • Short-term expert: 5 experts from JFTC • Equipments: none • Training in Japan: 3 times conducted (including Nagoya conference), 1 time planned to be conducted in April 2010. • Project expenses (amount): \$440,610 	<p>Comparison with plan and implementation</p>	<p>Timing, input amount and quality of input</p>	<p>Reports Documents Interview results</p>	<p>Reports Documents Interview results</p>	<p>Document Review Interviews</p>	<p>Document Review Interviews</p>
	<p>External Conditions</p>	<p>The direction of competition policy does not change.</p>	<p>No change in competition policy</p>	<p>No change in competition policy</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>
	<p>Achievements of the Project</p>	<p>The organization of VCA is not reformed/ rearranged that may affect the project activities.</p>	<p>Achieved (Evaluation score:3/3)</p>	<p>Achieved (Evaluation score:3/3)</p>	<p>To confirm what and when outputs are achieved and compare with the original plan.</p>	<p>Completion level and timing</p>	<p>Reports Interview results</p>	<p>Document Review Interviews</p>
	<p>Verification of the Process</p>	<p>1-1 Analyze the present situation of investigation activities and identify the issues to take up in the activities.</p> <p>1-2 Upgrade the investigation skill through investigation activities with advice.</p> <p>1-3 Make necessary guidelines, manuals for investigators.</p> <p>1-4 Improve the skills to define the relevant market.</p>	<p>Achieved (Evaluation score:3/3)</p> <p>The manual is being published (the content was finalized)</p> <p>Not been achieved (Evaluation score:1/3): As lack of human resources, this activity is converted into the first quarter of 2010</p>	<p>Achieved (Evaluation score:3/3)</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>	<p>Information by relevant staff</p>

766

Annex 3 -- 1 Achievement of Output

Items of Investigation	Evaluation Subject		Achievement of Output	Assessment Criteria	Necessary Data	Data Source	Means of Data Collection	
	Core Subjects	Sub-Subjects						
	1-5 Implement the market survey in the targeted market to find out the issues in competition.		About to be achieved (Evaluation score:2/3): The market study on milk market is being completed. The market study on finance banking and insurance was agreed to convert into 2 seminars tentatively held in March 2010 in the South					
	1-6 Based on the above activities 1-1 through 1-5, prepare and implement the training program for the training center for investigators.		About to be achieved (Evaluation score:2/3): The training center has not yet started, but the trainings are conducted.					
	1-7 Build the capacity of CCID from the viewpoint of investigation through the established working group and conduct activities in accordance with necessity and availability.		About to be achieved (Evaluation score:2/3): There is still another roundtable of CCID tentatively held in March 2010.					
	1-8 Develop the draft concept for the establishment of the Training Center.		Achieved (Evaluation score:3/3): The Minister Decision has been made to establish Center for Training Investigators.					
	2-1 Organize working group(s) in charge of advocacy activities.		Achieved (Evaluation score:3/3): The working group 3 was established in November 2008, and activities are being continued.					
	2-2 Review and discuss methods of effective advocacy.		About to be achieved (Evaluation score:2/3): The activity is being carried out.					
	2-3 Conduct advocacy activities based on the activity 2-2 (e.g. seminars, workshops, leaflets, etc.)		Achieved (Evaluation score:3/3): The VCA Brochure is being published, the workshop was organized already. The other activities are being implemented.					
	Relations with Expert and C/Ps	Does Expert keep good working relations with C/P?	Relationship of mutual trust has been established. Communication has been made properly.	Yes, fully established	Frequency of meetings within project	Opinion by relevant staff	Reports Interview results	Document Review Interviews
	Relationship between the Project team and other stakeholders	Contact and complementarity with other government offices, enterprises, consumers, academicians and other donors		Frequent participation by the Expert to other donors' seminars and workshops.		Opinion by relevant staff	Reports Documents Interview results	Document Review Interviews
	Ownership of Vietnam side	Did VCA proactively cooperate with the project planning and implementation?		Yes, by setting up 3 Working Groups to support the project activities.	Commitment by VCA	Record of activities Opinion by relevant staff	Interview results	Interviews
Monitoring/Evaluation methodology	Did counterparts at VCA understand the Project thoroughly?		Yes, fully understood.	Main mandates of OP	Opinion by relevant staff			
	Does the Vietnam government allocate budget to the Project as agreed?		Yes, as agreed on the Minutes of Meeting.	Comparison of plan and execution of project budget	Project budget plan and execution	Reports Documents Interview results	Document Review Interviews	
	Have monitoring and evaluation of the Project been conducted effectively?		The monitoring is being done through periodical reporting by the Expert to JICA. The evaluation is conducted under the terminal evaluation in January 2010.	Monitoring system and tool Frequency of monitoring Feedback of monitoring results	Monitoring and evaluation system, method, organization and activities	Reports Interview results	Document Review Interviews	
	Are there any factors to prevent or contribute to the Project activities?	Obstacles accrued from organization or staff experience and capacity at VCA Obstacles accrued from Japanese cooperation system Other factors related with preventive or contributable		The capacity of VCA staff, newly recruited staff with limited capacity. The number of cases; small number of actual cases provide limited opportunities for advice. No particular obstacle. Not in particular.		Opinion by relevant staff	Reports Documents Questionnaire replies Interview results	Document Review Interviews

7/10

Annex 3 - 2 Evaluation Results

CAPACITY BUILDING FOR ENFORCEMENT OF COMPETITION LAW AND IMPLEMENTATION OF COMPETITION POLICY IN VIETNAM: EVALUATION GRID

Items of Investigation	Evaluation Question		Evaluation Results	Assessment Criteria	Necessary Data	Data Source	Means of Data Collection
	Core Question	Sub-Questions					
Relevance	Were the Overall Goal and the Project Purpose be linked to the Vietnam national policy?	Was this capacity building technical cooperation aligned with the Government of Vietnam (GOV)'s needs? Was this project aligned with VCA's needs?	Yes, it aligned with promotion of market economy, foreign investment promotion, privatization of state-owned enterprises. It also aligned with international commitment under WTO agreement to create rule-based market regulations. Yes, VCA is currently expanding its organization with newly recruited staff and in acute need in capacity building. The recent increase of cases to be investigated by VCA, the project activity has direct relevance with the need of VCA.	Consistency with 5 year development plan and expectation by the government Satisfaction level of VCA management and staff	Policy papers Opinions by relevant staff Satisfaction level of VCA staff Utilization level of what VCA staff have learnt in the trainings	Reports Related documents Questionnaire Interview Results	Document Review Interview
	Priority	Were activities conducted in this project aligned with the Overall Goal?	VCA is a governmental enforcement authority of Competition Law so promotion of fair competition in Vietnam is set as a top priority. Being well aware of that, VCA has been seeking foreign support through bilateral and multilateral projects to well train its staffs, which will partly contribute to build a fair competition environment. Being well aware of the importance of staff's competence in handling competition issues, VCA has made every effort to maximize technical support from partners to enhance capacity building, which will ensure business operation under a competitive environment.	Recognition by VCA management and staff The capacity level of VCA for implementation of competition policy	VCA relevant documents Achievements of policy implementation Opinions by VCA staff	Reports Questionnaire Interview Results	Document Review Interview
Methodology	Did the Project adhere to the Japan's aid policy?	Priority areas to be assisted JICA Country Specific Program	Yes, it is the priority area as an institutional strengthening to support economic development.	Confirmation with facts	Japanese aid policy	Relevant documents	Document Review
	Was the Project approach appropriate?	Was the dispatch of long-term expert appropriate as a means to transfer skills and knowledge? Has VCA taken appropriate measures to accept experts and activities? Was back-up support by JICA and JFTC appropriate?	Yes. The long-term expert (resident advisor) dispatched is a very experienced competition investigator with years of working in JFTC so the expert could well define the strengths and weaknesses of VCA staff especially investigators. At the same time, based on the needs for assistance of VCA, the expert provided critical skills and updated knowledge relevant to competition. Furthermore, the expert is available on daily basis to provide advice, consultation or comment to VCA staff when requested. JFTC is a developed competition agency. Its experience and assistance for VCA was highly valuable. Yes. VCA set up 3 Working Groups (Investigation, Capacity building, advocacy) to assist implementation of the project activities. The leaders of each group played an active role in coordinating activities for smooth operation and they also played a good role of liaison Yes, in particular for sending short-term experts and training in Japan.	Recognition by VCA counterpart and the expert Recognition by VCA counterpart and the expert Recognition by VCA counterpart and the expert	Project activities Actual activities of VCA and its evaluation Opinions by relevant staff	Reports Related documents Interview Results	Document Review Interview
Effectiveness	Does Japanese assistance have competitive advantages?	Experience of Japanese anti-monopoly law and JFTC were relevant and contributed to the Project. Japanese economy and industry experience was relevant and contributed to the Project.	Yes, JFTC enforced competition law around a century ago while VCA is too young and inexperienced so Japanese experience in enforcing anti-monopoly law is a great contribution to the Project. Yes. A fair competition environment plays a key role to the operation of economy and industry. Therefore, experience of such a developed country as Japan will be of great use to Vietnam in general and the Project in particular.	Japanese anti-monopoly cases and their experience utilization Japanese industry and market experience and applicability Degree of achievements of purposes	Opinion of experts and VCA staff Opinion of experts and VCA staff	Related documents Interview Results	Document Review
	Is the Project Purpose appropriate?	Has the project purpose been achieved?	Yes, the purpose of the Project "Fair competition is promoted in the Vietnam market" was partly achieved.		Actual input and activities Actual progress of projects outputs	Monitoring and evaluation Reports Related documents Interview Results	Document Review Interview

Annex 3 - 2 Evaluation Results

Items of Investigation	Evaluation Question		Evaluation Results	Assessment Criteria	Necessary Data	Data Source	Means of Data Collection	
	Core Question	Sub-Questions						
causal correlation	Has appropriate index to assess the Project been set?		Yes, the index has been set relevant to the Project purpose and in line with the trend of development of VCA.		Current progress of project purposes Cause and effect relations with overall local interviews			
	Did VCA staff utilize what they have learnt in the trainings?		Yes. The knowledge and experiences learnt from Japanese experts helped VCA investigators in their daily works as well as in investigations (especially skills on interview and making investigation Yes.	Actual impact and skills improvement of VCA staffs	Interview Results	Document Review Interview		
Project progress	Were there any obstacles to prevent project effects from being occurred?		No. There is no overlap between this Project and other Projects as they aim at different goals and outputs.		Actual activities Job tenure of staff at VCA	Interview Results	Document Review Interview	
	Were VCA core and relevant staff remained at the same?		Yes. All VCA core and relevant staff is still with VCA after the Project and they commit with their responsibilities.		Related Information Interviews			
	Were there major changes in competition policy?		No. Vietnam Competition Law was first introduced in late 2004 and it needs at least 5 years for enforcement before changes are made. There is a plan to revise Competition Law starting 2010.		Related Information Interviews			
	Were there any external factors?		Yes. There was a lot of positive change from external factors. Currently many industries in Vietnam have been deregulated and liberalized leading to more competitive markets.	Other external factors	Interviews			
	Was the Project carried out as scheduled?		Yes. So far most of the activities of the Project were implemented in line with the schedule.	A Comparison with actual achievements and original plan	Project progress Interviews	Reports Related Reports Interview Results	Document Review Interview	
	Did you have any difficulties in carrying on the Project?		Yes. During first half of 2009 VCA faced difficulties in limited human resources. Nevertheless, by late 2009 VCA have recruited about 20 staff so the human resource has been much enhanced. Another challenge is language, since most of materials/guidelines/model report/surveys in JFTC are expressed in Japanese.		Utilization of baseline survey	Baseline Survey Reports Interview Results		
	Did the Project provide adequate activities to achieve outputs?	Have the past technical cooperation activities contributed to make activities building activities?		Yes. We have some cooperation with COMCO (Swiss) and US FTC (US) that help us in capacity building activities.		Related Information Interviews	Reports Related documents Questionnaire Interview Results	
	causal correlation	Were numbers, terms, timing and specialties of short-term experts appropriate?		Yes, the short-term experts were sent timely for the respective seminars and workshops.		Records on short term experts dispatchment Interviews	Reports Related documents Interview Results	
		Were type, numbers and installment date of equipments appropriate? (if there is a provision of equipment)		There are no equipments bought during the Project.	Utilizations of provided materials	Equipment List Interviews		
	causal correlation	Were the contents, timing and duration of trainings in Japan appropriate?		Yes. See report from trainings in Japan for reference.	Satisfaction level of participants for training in Japan	Number of participant in training in Japan Interviews		
Were appropriate local costs in Vietnam and in Japan reserved for the Project?			No. The cost norm applied in the Project by Vietnam side is not sufficient to implement some activities, especially cost to organize events.	A comparison between actual expenditure and Contents of JFTC support and its frequency	Job tenure of CPs Project expenditure Interviews			
causal correlation	Do you think JFTC supports for short-term experts training in Japan, relevant materials and information, and its accumulated experience are utilized fully in Vietnam?		Yes. For a new compellion authority as Vietnam, learning experiences from similar authorities like JFTC is the most important and effective way to develop its capacity. We have made use of experiences and techniques from experts in JFTC.		Records of JFTC's support to this project			

HO

Annex 4 Project Design Matrix (PDM)

Project Title: Capacity Building for Enforcement of Competition Law and Implementation of Competition Policy in Vietnam
 Target Group: VCAD staff involved in Competition Law and policy
 Target Area: Vietnam
 Project Duration: September 2008 – June 30th 2010

Version 2

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Overall Goal Fair competition is promoted in the Vietnam market.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Number of sanction (number of case, enterprise, total amount of fines) - The level of awareness in the society 		
<p>Project Purpose The operational framework of VCAD is established for effective enforcement of Competition Law and policy.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Number of sanction (number of case, enterprise, total amount of fines) 2. Number of competition policy recommendations with publication 3 The trend of position, structure, budget and number of staff related to Competition Policy of VCAD 	<ol style="list-style-type: none"> 1. VCAD internal references 2. VCAD internal references 3. VCAD internal references, Decree, Decision and etc. 	<ul style="list-style-type: none"> - The public supports the activities of Competition Law and policy. - The independence of VCAD and VCC are maintained.
<p>Outputs 1 The function of investigation of VCAD is enhanced. 2 The knowledge regarding Competition Law and policy is promoted and disseminated among governments, enterprises, consumers and academics.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1-1 Number of analysis and recommendation for investigation activity of VCAD 1-2 More than ten (10) cases are studied and analyzed. 1-3 Number of staff who experienced actual cases 1-4 More than ten (10) training courses both in Vietnam and Japan are conducted. (Training in Japan, workshops and internal trainings etc) 1-5 Number of reference material for investigation including guidelines and manuals 1-6 Number and variety of actual investigation activities 1-7 More than two (2) market surveys are conducted, 1-8 Training modules and curriculums for the training center are prepared. 1-9 The result of questionnaires 2-1 More than ten (10) seminars for advocacy are conducted. (Unrestricted to seminars held by VCAD-JICA.) 2-2 More than three (3) leaflets for advocacy are published. 2-3 Number of lodgment of complaints and detection 2-4 Number of consultation from enterprises, etc 	<ol style="list-style-type: none"> 1-1 Project reference 1-2 Project reference 1-3 VCAD internal reference 1-4 Project reference 1-5 Reference material for investigation including guidelines and manuals. 1-6 VCAD internal reference 1-7 Report of market survey 1-8 VCAD internal reference 1-9 Questionnaires 2-1 Project reference 2-2 Project reference 2-3 VCAD internal reference 2-4 VCAD internal reference 	<ul style="list-style-type: none"> - Sufficient budget is allocated for VCAD to enforce the Competition Law. - The independence of VCAD and VCC are maintained. -The trained counterparts do not leave the office.

Annex 3 – 2 Evaluation Results

Items of Investigation	Evaluation Question		Evaluation Results	Assessment Criteria	Necessary Data	Data Source	Means of Data Collection
	Core Question	Sub-Questions					
Impact	Utilization of local resources	Were existing facilities are used effectively?	The office space was being provided at VCA with PC and other office facilities.	Frequency in use of local resources (academician, consumers) and existing facilities	Interviews		
		Any factors to contribute or prevent efficiency.	No.	Other factors (if any)			
Progress on overall goal	Do you think the Overall Goal will be achieved when considering the performance of the Project so far?		Yes. The Overall Goal will surely be achieved. Most of indicators in the Project have been achieved though the Project is not finished yet.	Impact on VCA staff's performance	Related information	Reports Related documents Interview Results	
	Fulfillment of important assumption.	Has Vietnamese competition policy been implemented as scheduled?	Yes. The implementation of Vietnam Competition Law is scheduled to be divided into 3 phases: 1) preparation for enforcement (2005-2007); 2) enforcement period (2008-2009) and 3) review and revision (2010-2012). VCA follows well with this schedule.	Any changes in national policies on competition	Implementation progress of competition policy	Reports Related documents Questionnaire Interview Results	
Pressive effect	Were there any other important activities contributing to achieve the Overall Goal?		Yes. The recruitment of new staff for VCA can be regarded as other activities contributing to achieve the Overall Goal.	Other necessary conditions to achieve overall goal	Interviews	Interview Results	
	Any side effects (positive and negative) of contributed factors mentioned in D3		No.	Disincentives	Interviews	Reports Related documents	
Sustainability	Government policies to promote the Project will not change after the completion of the Project	Does the competition policy remain as priority subject at GOV (MOIT)?	Yes. The Government has always determined its priority to build up a market economy whereas competition policy is a pillar.		Interviews		
		Does VCA have strategies to implement capacity building of its staff after the completion of the Project?	Yes. VCA has been approved to establish the Training Center for investigators and this Center is targeted to strengthen capacity for investigators.	VCA has a strategy to carry its own capacity building trainings.	Any strategies on secondary education in math and science	Reports Related documents Questionnaire Interview Results	Document Review Interview
Organizational and Finance aspects	Sustainability of VCA management system	Have VCA and Ministry of Industry and Trade (MOIT) exercised ownership to the Vietnam enterprises' recognition on competition law and policy high?	Yes. It is noted, however, the initiatives in communication have been taken by both sides, by Expert and VCA.		Organizational structure of actors, involved in the Project	Reports Related documents Interview Results	Document Review Interview
	Could training centers keep same functions after the Project?	Are there any strategies to secure budget to carry on trainings and to maintain facilities and equipment?	According to a survey implemented before the Project, the recognition of enterprise on competition law is at relatively low level. We have not made any other survey therefore we are not sure about the change/development in this issue.		Interviews	Interview Results	
Social, cultural and environmental aspect	Social awareness on competition law and competition policy	Did the raise of social awareness have any effect on the implementation on competition policy?	Yes. The budget for Training Center is allocated from the State Budget. But there are no facilities and equipments purchased under this Project so there is no maintenance of these assets after the Project.	Budget allocation for Training Center	Interviews	Interview Results	
		Any other factor affected?	Yes. Social awareness contributed partly to more claims sent to VCA.	Recognition by society	Interviews	Interview Results	
Other	Any concerns for extension of the project	Is there sufficient sustainability in terms of institution, finance, and technical aspects?	No.	Other factors			
	Direction in the future		There are lot of needs in extension of the Project, partly due to the tasks not fully achieved, remaining needs for capacity building and emerging needs in revision of the Competition Law and more cases to be expected.		Related information		

768

<p>Activities</p> <p>1-1 Analyze the present situation of investigation activities and identify the issues to take up in the activities.</p> <p>1-2 Upgrade the investigation skill through investigation activities with advice.</p> <p>1-3 Make necessary guidelines, manuals for investigators.</p> <p>1-4 Improve the skills to define the relevant market.</p> <p>1-5 Implement the market survey in the targeted market to find out the issues in competition.</p> <p>1-6 Based on the above activities 1-1 through 1-5, prepare and implement the training program for the training center for investigators.</p> <p>1-7 Build the capacity of CCID from the viewpoint of investigation through the established working group and conduct activities in accordance with necessity and availability.</p> <p>1-8 Develop the draft concept for the establishment of the Training Center.</p> <p>2-1 Organize working group(s) in charge of advocacy activities.</p> <p>2-2 Review and discuss methods of effective advocacy.</p> <p>2-3 Conduct advocacy activities based on the activity 2-2 (e.g. seminars, workshops, leaflets, etc).</p>	<p>Input</p> <p><u>Vietnamese side</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Allocation of counterpart: - Project Director - Project Manager - Technical Counterpart <p>- Office space for Japanese expert(s)</p> <p>- Travel fee for VCAD staff and other necessary expense</p> <p><u>Japanese side</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Expert(s): - Long-term: Capacity building for the enforcement of the Competition Law - Short-term: when necessity arises - Equipment: as required - Training in Japan: about 2 times - Project expense: necessary costs to implement the project 	<p>Preconditions</p> <ul style="list-style-type: none"> - The direction of competition policy does not change. - The organization of VCAD is not reformed/rearranged that may affect the project activities.
--	--	---

760

K

Annex 5 Plan of Operations (PO)

Activities of the Project/Time Line	1st year												2nd year									
	2008						2009						2010									
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
1-1 Analyze the present situation of investigation activities and identify the issues to take up in the activities.																						
1-2 Upgrade the investigation skill through investigation activities																						
1-3 Make necessary guidelines, manuals for investigators.																						
1-4 Improve the skills to define the relevant market.																						
1-5 Implement the market survey in the targeted market to find out the issues in competition.																						
1-6 Based on the above activities 1-1 through 1-5, prepare and implement the training program for the training center for investigators.																						
1-7 Build the capacity of CCID from the viewpoint of investigation through the established working group and conduct activities in accordance with necessity and availability.																						
1-8 Develop the draft concept for the establishment of the Training Center.																						
2-1 Organize working group(s) in charge of advocacy activities.																						
2-2 Review and discuss methods of effective advocacy																						
2-3 Conduct advocacy activities based on the activity 2-2 (e.g. seminars, workshops, leaflets, etc)																						

Handwritten signature/initials

Handwritten mark

- E. Decision About Setting up and promulgating the working regulation of Working Groups with Japanese Specialist
(ワーキング・グループ設置に関する VCA の決定、英訳)

Ministry of Industry and Trade
VCAD

The socialist Republic of Vietnam
Independence - Freedom - Happiness

No: 96 / QĐ - QLCT

Hà Nội, date 25 month 11 year 2008

Decision

About: Setting up and promulgating the working regulation of Working Groups with Japanese Specialty

VCAD General Director

Base on Decree No 06/2006/NĐ-CP published on 09/01/2006 of the government defining functions, tasks, authority and organization structure of VCAD

Base on the document of the project signed on 03/09/2008 between VCAD and JICA Vietnam about carrying out the project “*Capacity building for enforcement of competition law and implementation of competition policy in Vietnam*”;

Consider the proposal of the Head of ICD

Decide to:

No1: Establish 3 Working Groups in order to support and coordinate in implementing activities under the framework of the project “*Capacity building for enforcement of competition law and implementation of competition policy in Vietnam*” signed between VCAD and JICA as followed:

- Group 1: Supporting investigation activities
- Group 2: Supporting training activities
- Group 3: Implementing advocacy activities

Participants of Working Groups is as on appendix 1 of this Decision

No2: Promulgate working regulation of Working Groups as on appendix 2 of this Decision

No3: This Decision takes effect starting signing date. Working groups, Heads of Divisions have the responsibility to implementing this Decision./.

General Director

Recipients :

- Deputy General Directors;
- No3;
- Filing;

Bạch Văn Mừng

Working Regulations
(Enclose with Decision No /QD-QLCT)

No1. Functions and tasks of Working Groups

1. Coordinate with the Japanese Advisor in building up the program, plans of activities and cooperation in fields of the framework of the project signed between VCAD and JICA

2. Being the contact point, cooperating with inside and outside units of the Department to carry out and deploy programs and activities of Working Groups

3. For Working Group supporting investigation activities

a. Provide documents relating to cases which are being settled so that the Advisor can support and supervise for those cases

b. Make it convenient for the Advisor to join in investigating processes

c. Organize advisory meeting between Investigation Groups and the Advisor about competition cases

4. For Working Group supporting training activities

a. Build up the content and training programs for investigators

b. Organize training activities for official of Department

5. For Working Group supporting advocacy activities

a. Build up requirements, plans for advocacy activities through specific areas

b. Organize activities according to plans..

No2. Responsibility of leaders

1. The leaders have to take responsibility of their Working Groups' activities

2. Preside working sessions of their Working Groups

3. Remind the participants of the groups to be aware of programs and working schedules

No 3. Responsibility of participants

1. Joining in Working Groups' activities and carry out assigned tasks
2. Attend all meetings of Group as being assigned by the leader. In case of being absent, there should be reasonable causes and must inform the leader in advance

No 4. Reporting Mechanism

1. Working Groups submit the report about the rate of progress every Quarter in writing to General Director before the last day of the Quarter
2. The report should reflect honestly and unprejudiced the progress of the work and must be based on the ideas contributed by participants

No 5. Implementation

1. This regulation takes effect from 22/11/2008
2. All the Working Groups and Units of the Department have the responsibility to implement this working regulation.

Appendix 1
(Enclose the Decision No 96 /QĐ-QLCT)

List of Working Groups

Name	Participants	Position	Current unit
Group 1: Supporting investigation activities	Cao Xuân Hiến	Leader	Investigation Division in charge of Competition Restricting Cases
	Trịnh Anh Tuấn	Member	Division for International Cooperation
	Cao Xuân Quảng	Member	Division for investigation and settlement of Unfair competition cases
	Trương Thùy Linh	Member	Competition Administration and Management Division
	Phùng Văn Thành	Member	Investigation Division in charge of Competition Restricting Cases
Group 2: Supporting training activities	Nguyễn Đức Minh	Leader	Investigation Division in charge of Competition Restricting Cases
	Đoàn Tử Tích Phước	Member	Division for investigation and settlement of Unfair competition cases
	Vũ Đình Trung	Member	Division for International Cooperation
	Nguyễn Văn Quân	Member	Office
	Lê Thu Hà	Member	Investigation Division in charge of Competition Restricting Cases
	Trần Thị Minh Phương	Member	Division for International Cooperation
Group 3: Implementing advocacy activities	Phạm Châu Giang	Leader	Division for International Cooperation
	Phan Công Thành	Member	Office
	Nguyễn Thành Hải	Member	Information Center
	Bùi Việt Trường	Member	Information Center
	Lê Hồng Nhung	Member	Division for International Cooperation

F. 収集資料リスト

F. 収集資料リスト

1. “VCA Vietnam Competition Authority”, VCA (VCA ブローシャー、英文)
2. “Overview of Competition Law”, VCAD (競争法解説書、英文)
3. “Dieu Tra Vu Viec Han Che Canh Tranh” (Instruction, Procedure to Conduct Anticompetitive Investigation, 審査マニュアル、ベトナム語)

